



令和元年度

病院概要

福島県立矢吹病院

基本理念

仁愛・誠意・献身

～思いやりと真心で患者さんに尽くします～

七つの基本方針

精神保健福祉法を遵守し、私たちは

- 1 患者さんの人権に配慮し、癒しと回復の場を提供します。
- 2 情報の共有と相互の理解のもと、効果的で適切な医療を提供します。
- 3 患者さんの社会復帰の促進を図り、家庭や地域での生活を支援します。
- 4 公的責務を自覚し、救急や治療困難な患者さんの受け入れに努めます。
- 5 積極的に関連機関と連携し、広く地域精神保健活動に取り組めます。
- 6 透明かつ適正な運営により、県民の理解と信頼を得られるよう努めます。
- 7 明るく働きがいのある職場をつくり、真の「こころの治療」を追求します。

目 次

1	沿 革	1
2	病院の概要	2
(1)	施設の状況	4
(2)	敷地・建物の状況	4
(3)	施設の配置図	5
(4)	施設の平面図	6
	管理棟1階	6
	管理棟2階	7
	作業療法棟、1病棟	8
	2病棟、旧3病棟	9
	3病棟	10
	元1病棟	11
	元2病棟	11
	生活療法棟	12
3	組織・職員配置	13
(1)	組織・機構	13
(2)	職員配置状況	14
(3)	院内設置各種委員会	15
4	財務状況	17
(1)	収支決算状況	17
(2)	経営分析	18
5	患者の状況	19
(1)	入退院及び外来患者の推移	19
(2)	入院患者の経費区分の推移	19
(3)	年度末入院形態別在院患者数の推移	19
(4)	疾患別性別入院患者数の推移	20
(5)	年齢別性別入院患者数の推移	21
(6)	入院患者の在院期間別割合の推移	22
(7)	平均在院日数の推移	23
(8)	在院期間別年度内退院患者の推移	23
(9)	保健所別入院患者数	23
(10)	その他のクリニカル・インジケータ（臨時指標）	23
6	医療関係業務実施状況	24
(1)	レクリエーション療法	24
(2)	作業療法	25
(3)	デイケア	26
(4)	訪問看護ステーション	27
(5)	認知症疾患医療センター	29
(6)	心理社会療法	29
(7)	栄養管理	30
7	医療安全管理室	32
(1)	基本方針	32
(2)	医療安全の取り組み	32
8	医療ソーシャルワーク実施状況	33
(1)	面接活動等	33
(2)	その他	33
9	臨床検査実施状況	33
10	臨床心理業務実施状況	34
(1)	カウンセリング等心理療法的業務	34
(2)	心理検査	34
11	薬事の状況	35
12	給食実施状況	36
13	看護活動の状況	37
(1)	病棟別看護概要	37
(2)	院内教育実施状況	38
(3)	院外研修実施状況	40
14	児童思春期外来の実施状況	41
(1)	開設からの経緯	41
(2)	診療日・診療時間・担当医師	41
(3)	対象年齢・疾患	41
(4)	外来受診状況	41
15	地域医療連携の実施状況	42
(1)	業務内容	42
(2)	実施状況	42
16	他機関への協力・援助状況	42
(1)	学校関係	42
(2)	県関係	43
(3)	市町村関係	43
(4)	団体関係	43
(5)	講演会関係（医師）	43
(6)	院外研究発表	44
(7)	講演会関係（臨床心理室）	44
17	家族会活動状況	45
(1)	一般的活動	45
(2)	矢吹病院まつり開催協力	45

1 沿 革

昭和30年11月	県立矢吹精神病院（100床）として開設
昭和33年6月	病棟（38床）、管理診療棟増築
昭和34年8月	隔離病舎（20床）併設
昭和37年7月	病棟（55床）増築（旧6病棟）
昭和38年1月	福島県立矢吹病院と改称
昭和38年5月	病棟（55床）増築（旧7病棟）
昭和40年8月	病棟（50床）増築（旧8病棟）
昭和41年6月	病棟（50床）増築（旧10病棟）
昭和42年5月	看護婦宿舎（定員40名）新築
昭和42年6月	生活療法棟（体育館）新築
昭和47年12月	病床（60床）廃止、計288床
昭和49年3月	精神科作業療法実施承認
昭和50年4月	歯科診療開始
昭和54年1月	病院整備基本構想作成委託
昭和55年5月	病院改築工事設計委託
昭和56年4月	旧8、10病棟（元1、2病棟）をそれぞれ50→44床に定数減
昭和57年8月	病院改築工事（第1期）竣工
昭和57年8月	元3病棟（現2病棟、50床）、5病棟（現5病棟、62床）、6病棟（現1病棟、50床）、7病棟（現3病棟、50床）使用許可
	旧1、2、3、6、7病棟廃止
昭和58年3月	隔離病舎廃止、計300床
昭和59年3月	病院改築工事（第2期）竣工
平成3年4月	精神科デイケア（大規模）承認
平成5年2月	元3病棟（現2病棟）一部改造工事竣工（病室2室（8床）を保護室2室（2床）、静養室2室（2床）に改造）
平成5年4月	病床数の変更（許可病床数300→296床、運用病床数280→242床）
	元2病棟閉鎖
	看護体制の変更（6看護体制→5看護体制）
平成8年4月	精神科訪問看護実施
平成9年1月	入院時食事療養特別管理加算届出受理
平成12年3月	日本医療機能評価機構（精神病院種別A）認定
平成12年4月	元6病棟（現1病棟）一部改築工事竣工（病室4室（16床）を静養室8室（8床）に改造、保護室8室と救急外来を増設）
	元1病棟閉鎖
	看護体制の変更（5看護体制→4看護体制）
	病床数の変更（許可病床数296→295床、運用病床数242→206床）
	精神科病棟入院基本料3（看護配置加算10：1看護補助加算）届出受理
平成14年7月	精神科応急入院病院に指定（平成15年9月辞退）
平成15年9月	病床数の変更（許可病床数295→294床）
平成15年10月	臨床研修病院に指定（27日付医政第1027004号、施設番号031283）
平成17年5月	日本医療機能評価機構（精神科病院）認定更新
平成17年7月	心神喪失者等医療観察法に基づく指定通院医療機関に指定（15日付第33号）
平成18年4月	精神科病棟入院基本料15対1（看護配置加算、15対1看護補助加算）届出受理
平成19年9月	内科外来開設
平成20年1月	病床数の変更（許可病床数294→206床）
平成22年6月	日本医療機能評価機構（精神科病院）認定更新
平成23年8月	児童思春期外来開設
平成24年1月	精神科応急入院指定病院に指定
平成27年4月	元3病棟休止
	看護体制の変更（4看護体制→3看護体制）
	病床数の変更（運用病床数206→156床）
平成27年8月	病床数の変更（許可病床数206→199床）（運用病床数156→149床）
平成28年3月	精神科急性期治療病棟入院料（1病棟）の届出
平成28年12月	精神科急性期医師配置加算（1病棟）の届出
平成29年4月	訪問看護ステーションのびのび開設
平成29年6月	認知症患者医療センター指定
平成30年3月	病床数の変更（許可病床数199→196床）（運用病床数149→146床）

2 病院の概要

当病院は、昭和30年11月1日精神衛生法に基づき福島県立矢吹精神病院（100床）として開設された。開設当時から社会復帰に治療の重点を置き、作業療法の充実を図り、昭和49年3月には精神科作業療法の実施承認を受けた。また、昭和52年には全国に先駆けて当地に障害者の社会的自立を援助することを目的とした白河地方職親連絡協議会が設立された。翌53年には、その協力のもとに矢吹病院家族会（昭和45年設立）が共同住居施設「あけぼの荘」（平成8年グループホームに認定）を開設し社会復帰の促進に向けて援助活動を開始した。悲願であった病院改築工事が3年の歳月をかけて昭和59年に完了し、当病院はより人間的な生活空間とリハビリ施設を持った新しい姿に生まれ変わった。

精神保健法の時代に入った平成3年4月、県内で最初に精神科デイケア（大規模）の実施承認を受けた。また、平成5年4月には病棟を一部改修して6看護体制を5看護体制に再編成した結果、男子・女子閉鎖病棟の三人勤務体制が組めるようになり、夜間のマンパワー確保が可能になった。さらに、平成8年4月から遅らばせながらも精神科訪問看護を開始し、また、平成9年1月には適時適温給食（夕食6時配膳）を提供することができるようになった。

入院治療環境を整えながら外来治療へ、そして地域医療へと、常に一歩先を見据えて試行錯誤してきた当院の歴史的流れの中で、デイケアと訪問看護の充実による再発予防体制の整備に傾注していた矢先の平成9年2月、県当局から第三次福島県立病院事業経営長期計画が提示された。一次・二次長期計画は民間精神病院をリードし得るモデル的精神医療の追及を求めるものであったのに対し、この三次長期計画は、当病院の役割を①精神科救急医療・処遇困難患者の受け入れ等に特定し、入院患者の減少を理由に②病棟再編成（5看護体制から4看護体制に再編成）を行うという病院経営の赤字対策が前面に打ち出されたものであった。

策定された第三次長期計画に基づき、民間コンサルタントによる病院経営診断（平成10年度）を経て平成11年度からコンサルタント指導型の経営改善作業が開始されたが、その最中の平成11年7月、今度は「日本医療医機能評価機構」の病院機能評価（精神A）受審の指示が県より下された。短い準備期間にもかかわらず平成12年1月の訪問審査を経て翌2月に無事認定（平成22年12月3度目の認定更新）を受けるとともに、この経過中に第三次長期計画①対応のための保護室増設工事（平成12年4月供用開始）と、②の病棟編成（5→4看護体制）を行うことができた。

しかし、その後も悪化の一途を辿る県立病院事業会計に対し、県は全ての県立病院に対して包括外部監査を実施（平成15年3月結果公表）し、県立病院事業改革委員会の設置、県立病院改革審議会の招集、県立病院改革実行方策の策定と矢継ぎ早の動きを展開し、平成19年3月で2病院を地元自治体に1病院を民間に移譲するとともに、別の2病院を統合・新築する方針を決定（平成25年5月会津医療センターとして開設済み）した。

一方で、存続が認められた病院には診療機能の充実と強化が求められ、各病院の長期経営計画案を基に病院局は平成19年3月「福島県病院事業経営改善計画」を策定した。これに則り、同年5月に組織された「経営戦略会議」と8月に発足した外部有識者による「経営評価委員会」を車の両輪として、経営改善へのさらなる取り組みが開始された。直後の平成19年12月には国は「公立病院改革ガイドライン」を公表し、各自治体に病院経営改善のため『改革プラン』の策定を求めてきた。その後一年以上の時間をかけて策定された本県の改革プランは、平成21年5月の経営評価委員会と県立病院改革審議会での承認を受けてスタートするに至った。途中で東日本大震災と原発事故（平成23年3月）に見舞われたものの、一応の成果を得て平成25年度をもってこの改革プランは終了した。しか

し、達成不十分な課題や震災復興関連の懸案事項を鑑み、県は独自に『新改革プラン』を作成し、引き続き平成26年度から3年間の予定で実施を開始した。その3年目にあたる平成28年度は、病院運営に関して非常に大きな動きが生じた年となった。即ち、当院改革の三本柱（①医療観察法病棟整備 ②児童・思春期外来開設 ③アウトリーチ型医療の導入検討）の中で、唯一未着手であった医療観察法病棟整備が動き出したのである。それまで町（議会）の承諾を得られずに暗礁に乗り上げたままであったが、児童・思春期医療や救急・アウトリーチ医療を前面に出した病院全面改築案を提示し、先進病医視察を含めて根気強い説明を重ねた結果、この課題が一気に動き始めた。その後、議会（県・町）の承認が得られ、医療観察法病棟を含めた改築基本構想の策定が始まり、終了する新改革プランに代わって病院改築も盛り込まれた4年計画の「新たな県立病院改革プラン」が平成29年4月からスタートを切った。

現在、「福島県立こころの医療センター（仮称）基本計画」に基づき、実施設計が進んでおり、今年の秋には旧病棟の解体工事が始まる予定となっている。また、新病院開院に先立ち、電子カルテの導入が検討されている。

さて、新しい時代“令和”の幕開けとともに当病院もこのように大変革期を迎えている。かつては、県内の精神医療を一步リードする時期もあったが、一時は機能停滞の感が否めなかった。そんな旧態依然の状況に対し、新病院においては、医療観察法病棟の開設や児童・思春期の入院機能、アウトリーチ支援、DPATの先遣隊、災害拠点精神科病院など、公的病院だからこそ可能な役割を任せられる形となった。それらの体制作りが喫緊の課題ではあるが、何はともあれ、明るく、快適な治療環境のもとで精神医療を提供できることが嬉しくもあり、また楽しみでもある。

令和元年6月

病院長 橘高 一

2 - (1) 施設の状況

所在地 福島県西白河郡矢吹町滝八幡100番地
 開設年月日 昭和30年11月1日（開設者：福島県病院事業管理者）
 診療科目 精神科、内科（歯科：週1回委託診療）
 許可病床 196床（運用146床、3看護単位）
 普通病室158床、保護室14床（1病棟8床、2病棟6床）、
 静養室14床（1病棟8床、2病棟11床）、社会復帰室5床（3病棟）
 基準サービス 精神科急性期治療病棟入院料（1病棟：平成28年3月届出受理）
 精神科急性期医師配置加算（1病棟：平成28年12月届出受理）
 精神病棟入院基本料15対1（2・3病棟：平成18年4月届出受理）
 ～看護配置加算、看護補助加算1～

2 - (2) 敷地・建物の状況

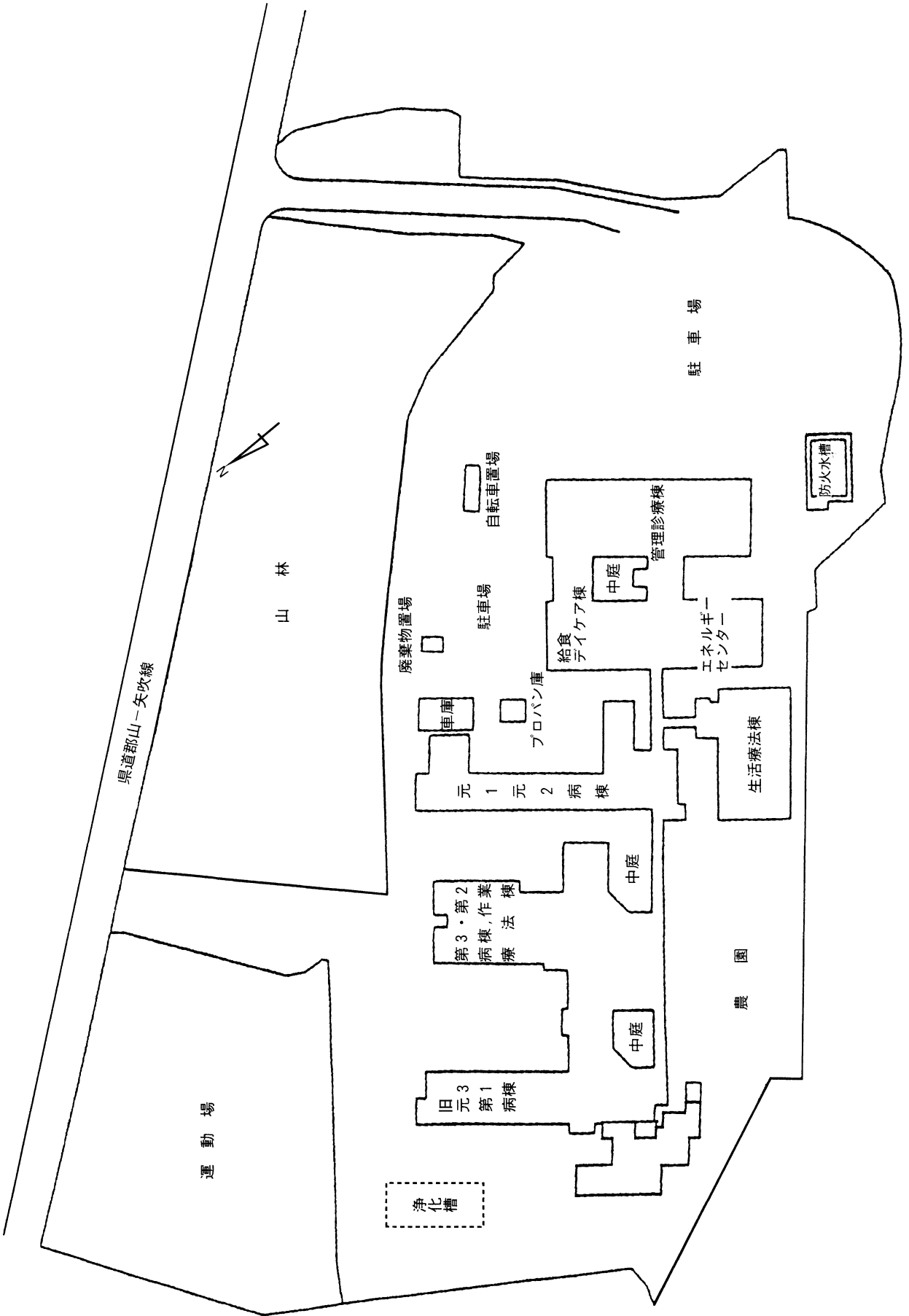
- ① 敷地面積 45,859㎡（うち借地 10,131㎡）
- ② 建物面積 7,294㎡、延床面積 13,246㎡

【内訳】

令和元年6月1日現在

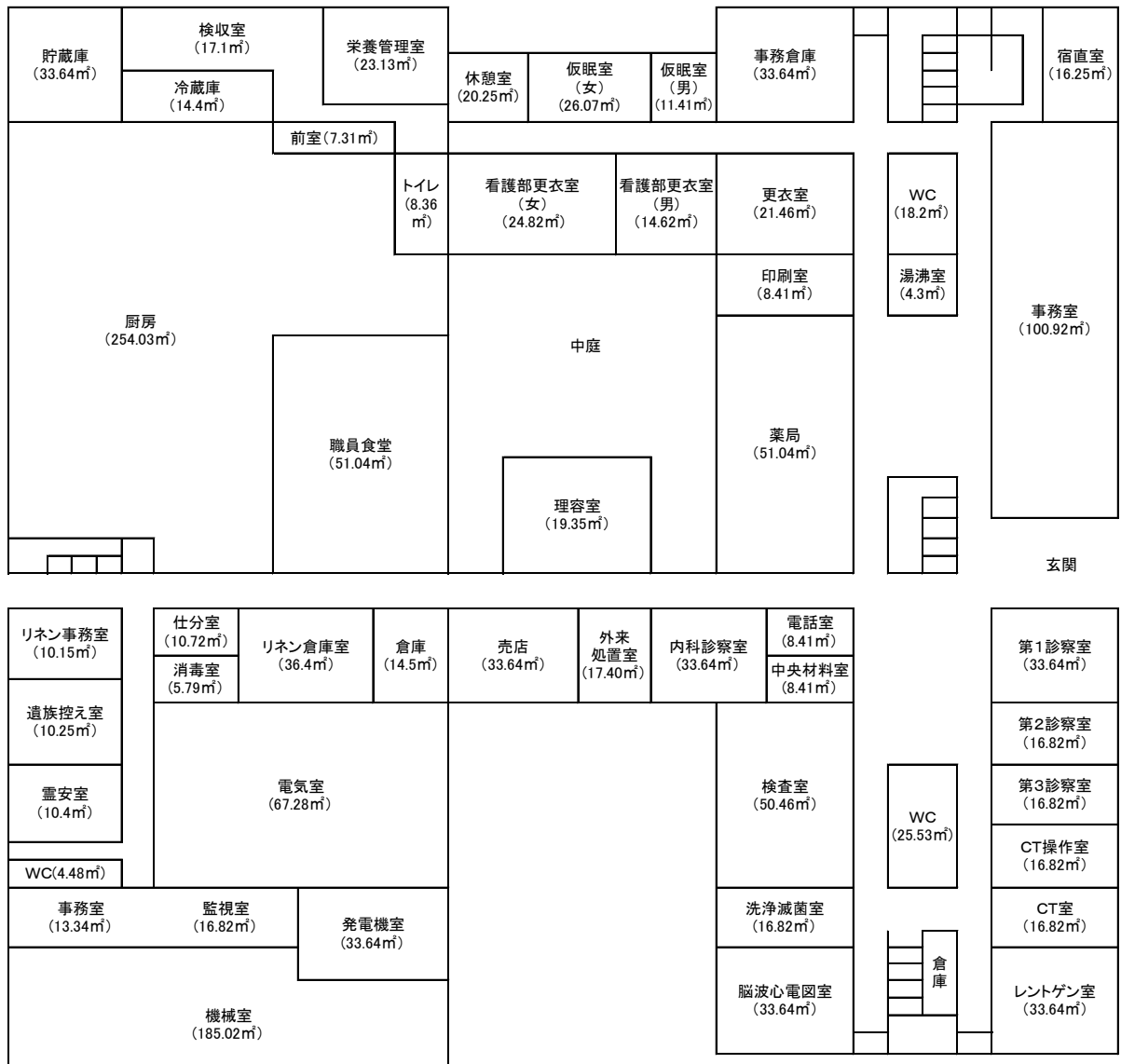
建物区分	完成年度	構造	主な用途	建築面積	延床面積
管理棟 診療棟	S.58	鉄筋コンクリート造 2階建	1 F. 事務部、外来診察室、 薬局、検査室、売店、 エネルギーセンター等 2 F. デイケア室、会議室、 研修室、図書室、 医療福祉相談室、 地域医療連携室	管理部門 1,670㎡ 診療部門 420㎡	4,513㎡
病棟 (元1, 2) (廃止)	S.40	鉄筋コンクリート造 2階建	1 F. 元1病棟（廃止） 2 F. 元2病棟（廃止）	病棟部門 992㎡ (廃止)	1,798㎡
病棟 (1, 2, 3) 作業療法棟	S.57	鉄筋コンクリート造 2、3階建	1 F. 作業療法棟 1 F. 1病棟 2 F. 2、元3病棟（休止中） 3 F. 3病棟	診療部門 1,153㎡	6,145㎡
	H.11		1 F. 保護室、救急外来	病棟部門 2,204㎡	
生活療法棟	S.42	鉄筋コンクリート造 平屋建	主にデイケア	診療部門 608㎡	608㎡
車庫棟	S.58	鉄骨造平屋建	車庫	管理部門 128㎡	128㎡
その他建物	S.58		ボンベ室、自転車置き場 グランド便所	管理部門 54㎡	54㎡
			・管理部門	1,917㎡	
			・診療部門	2,181㎡	
			・病棟部門	3,196㎡	

2-(3) 施設の配置図

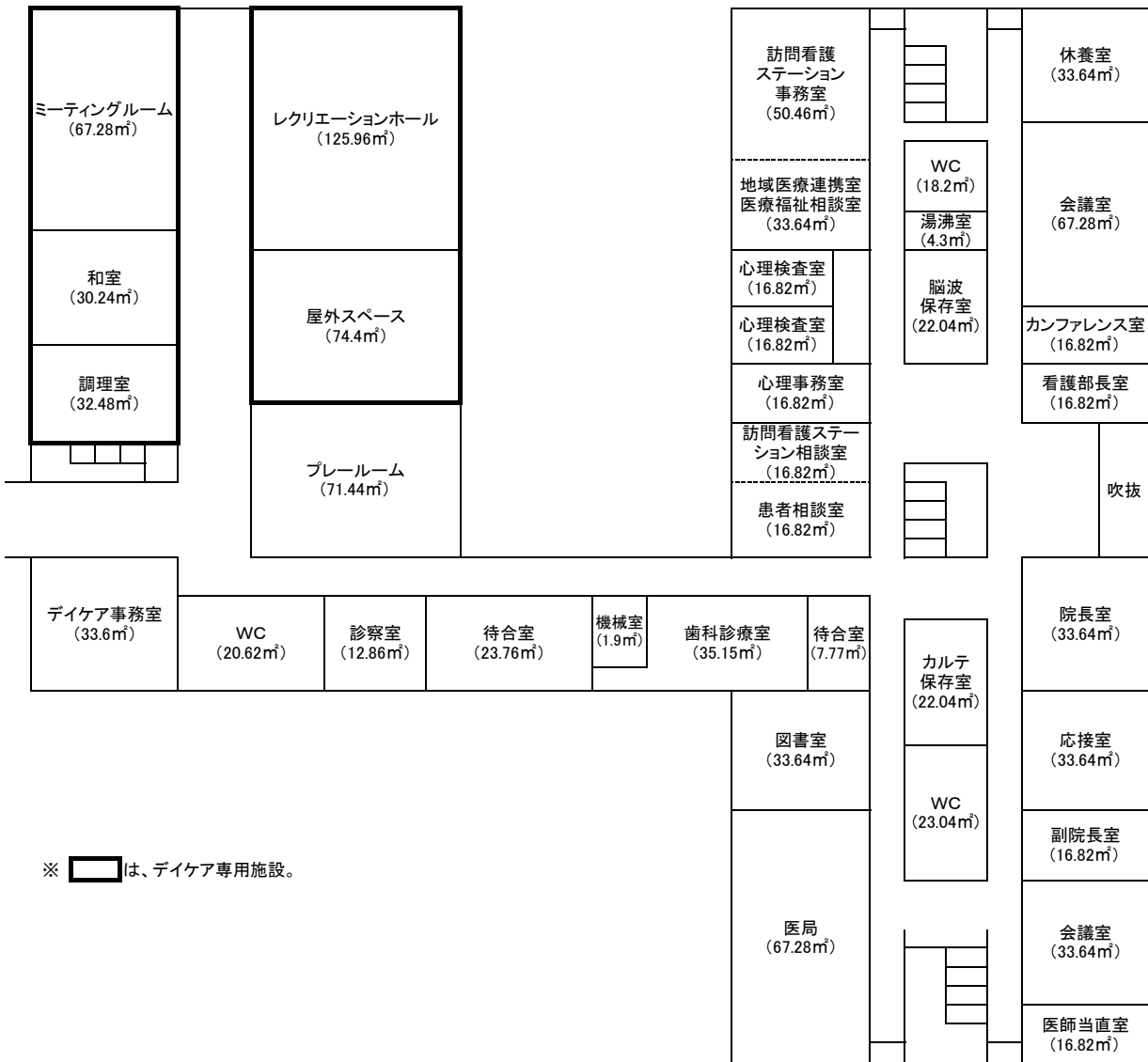


2 - (4) 施設の平面図

管理棟1階

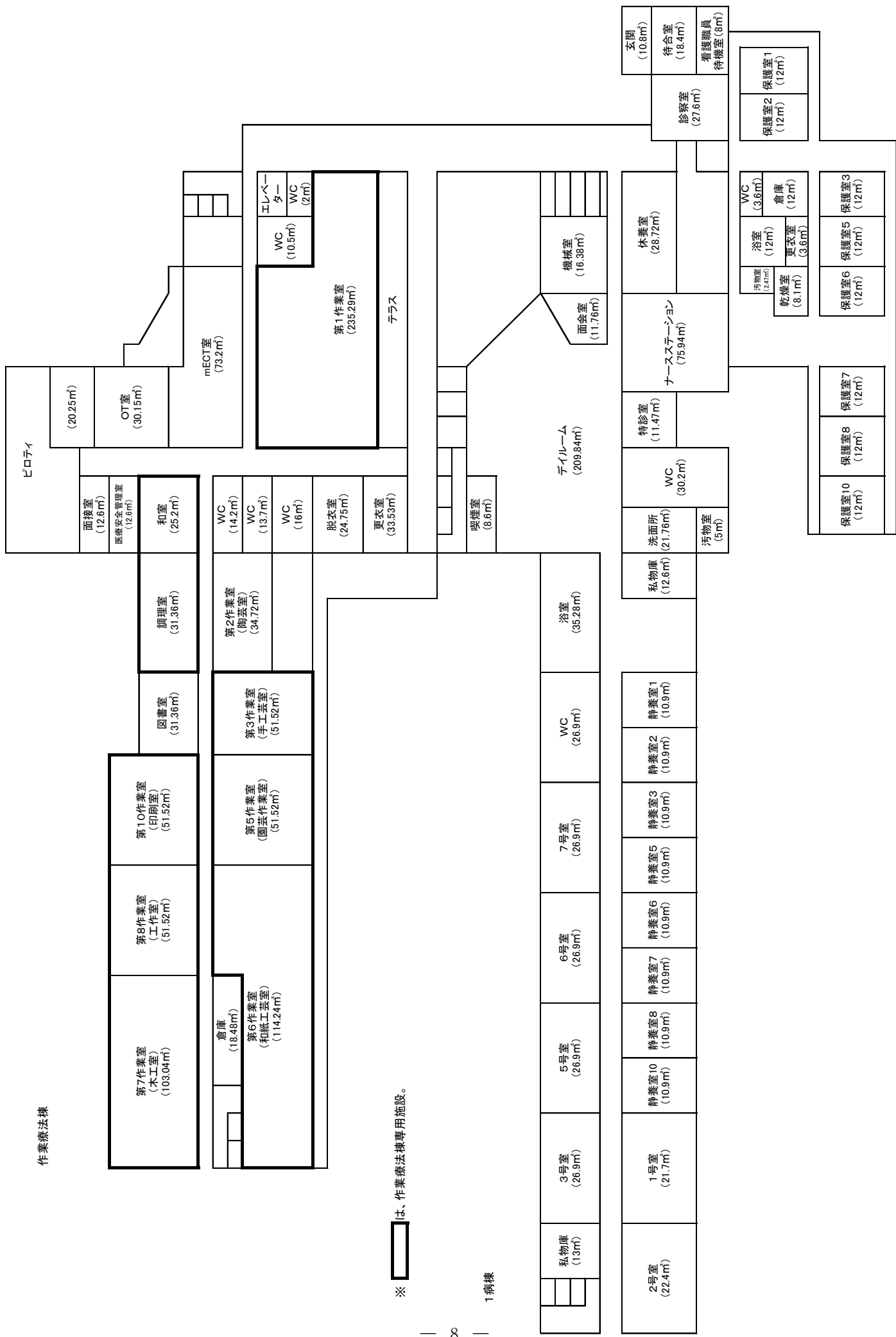


管理棟2階



※ は、ディケア専用施設。

作業療法棟

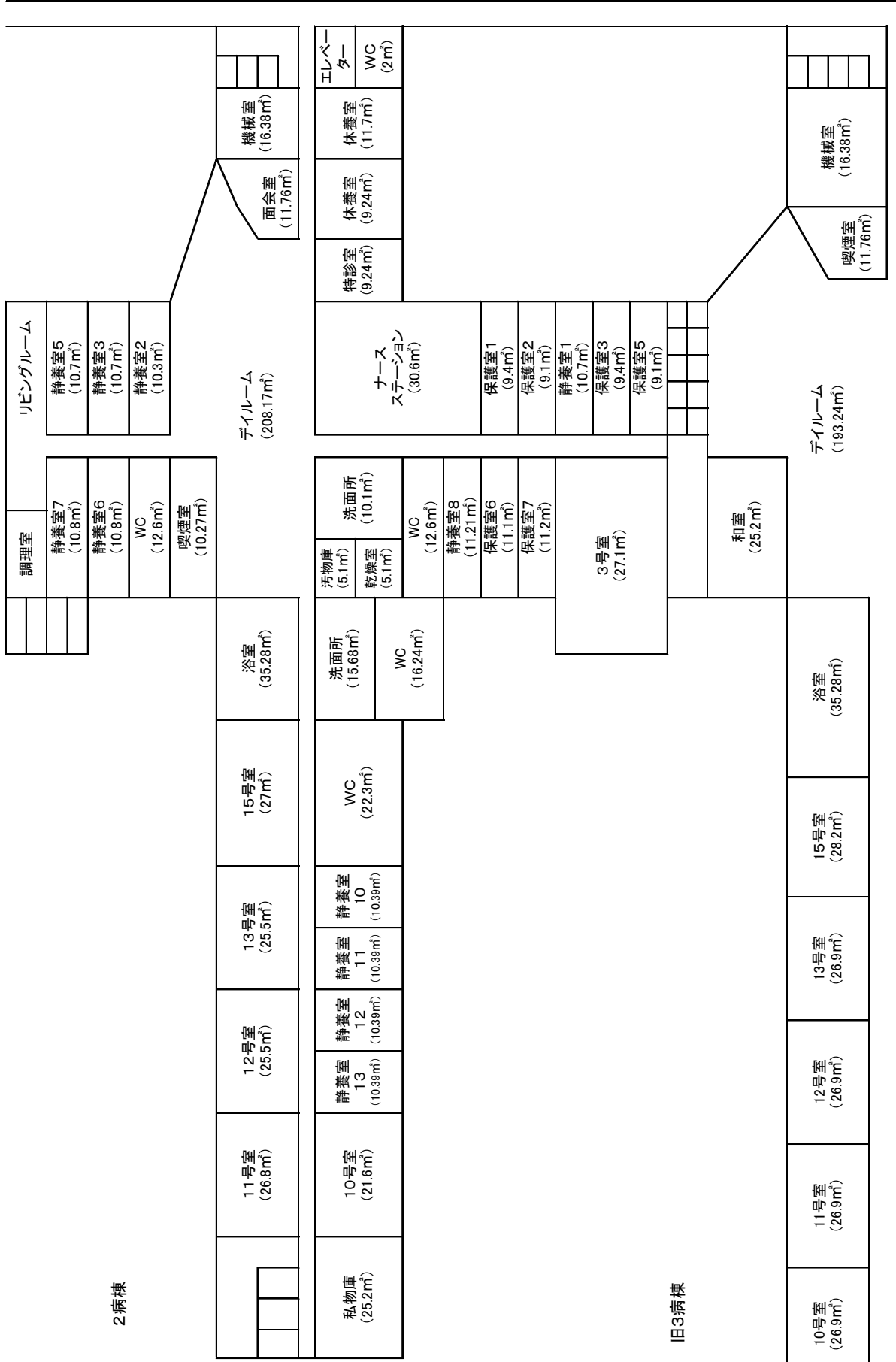


※ 〇は、作業療法棟専用施設。

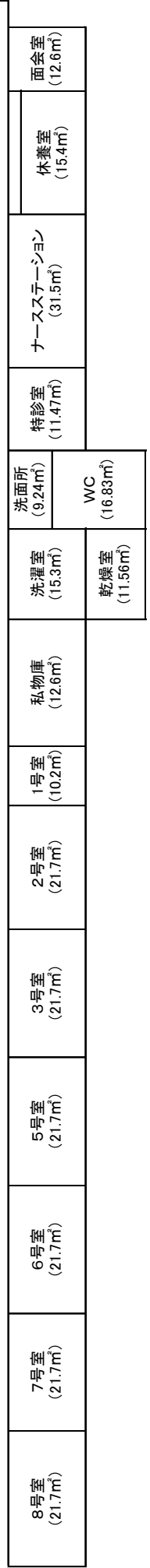
— 〇 —

1 病棟

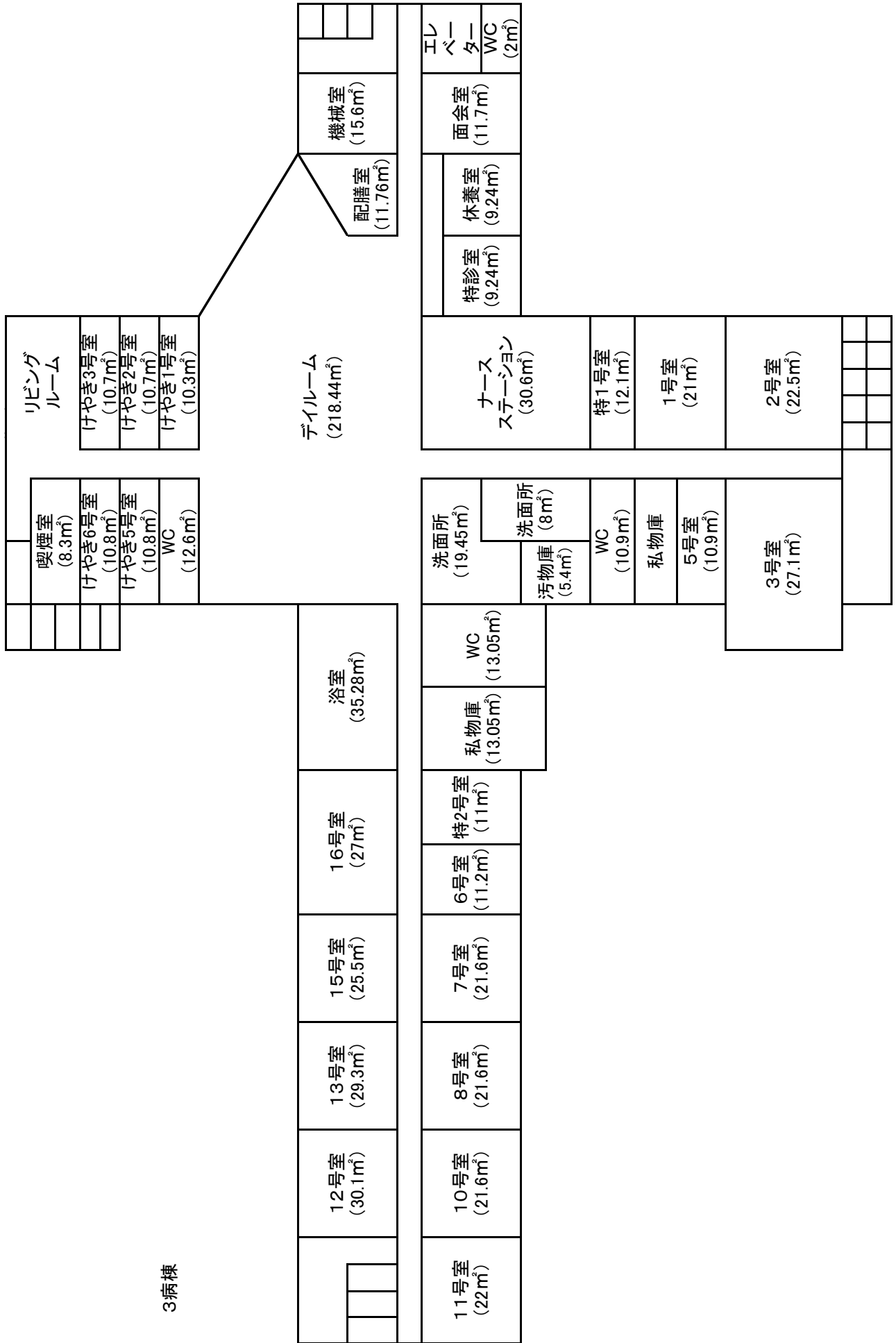
2病棟



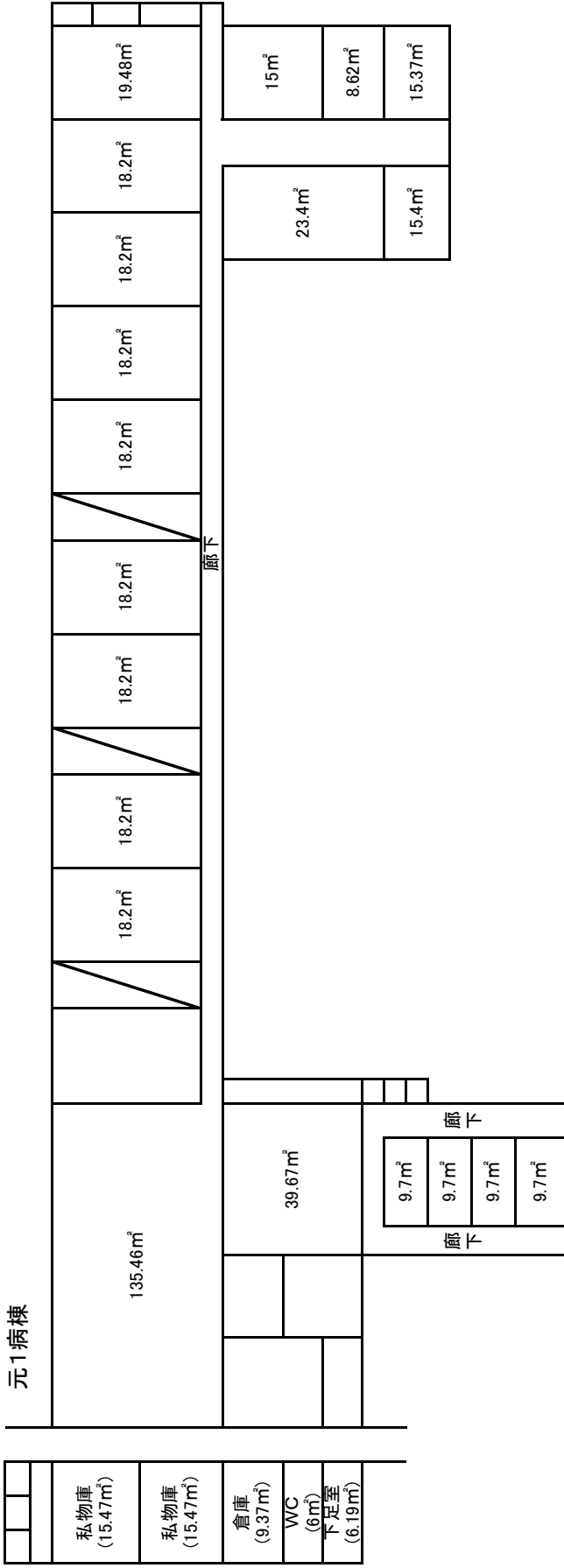
旧3病棟



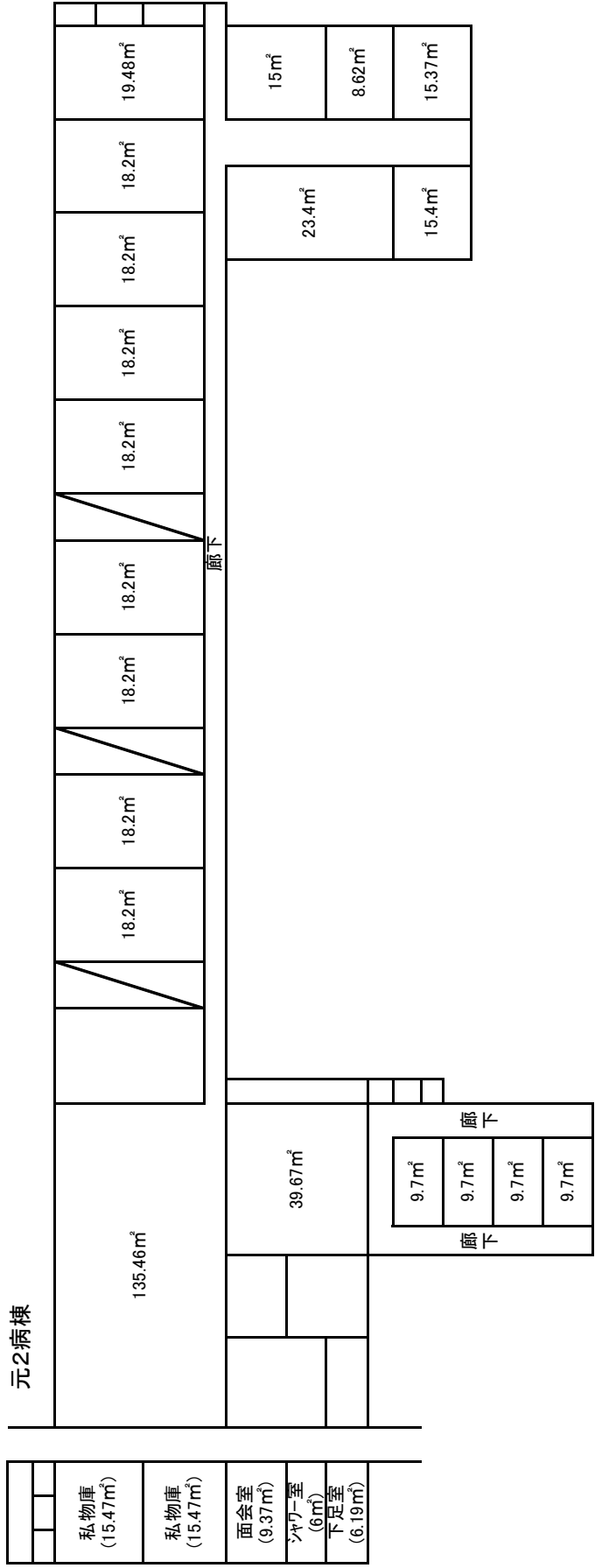
3病棟



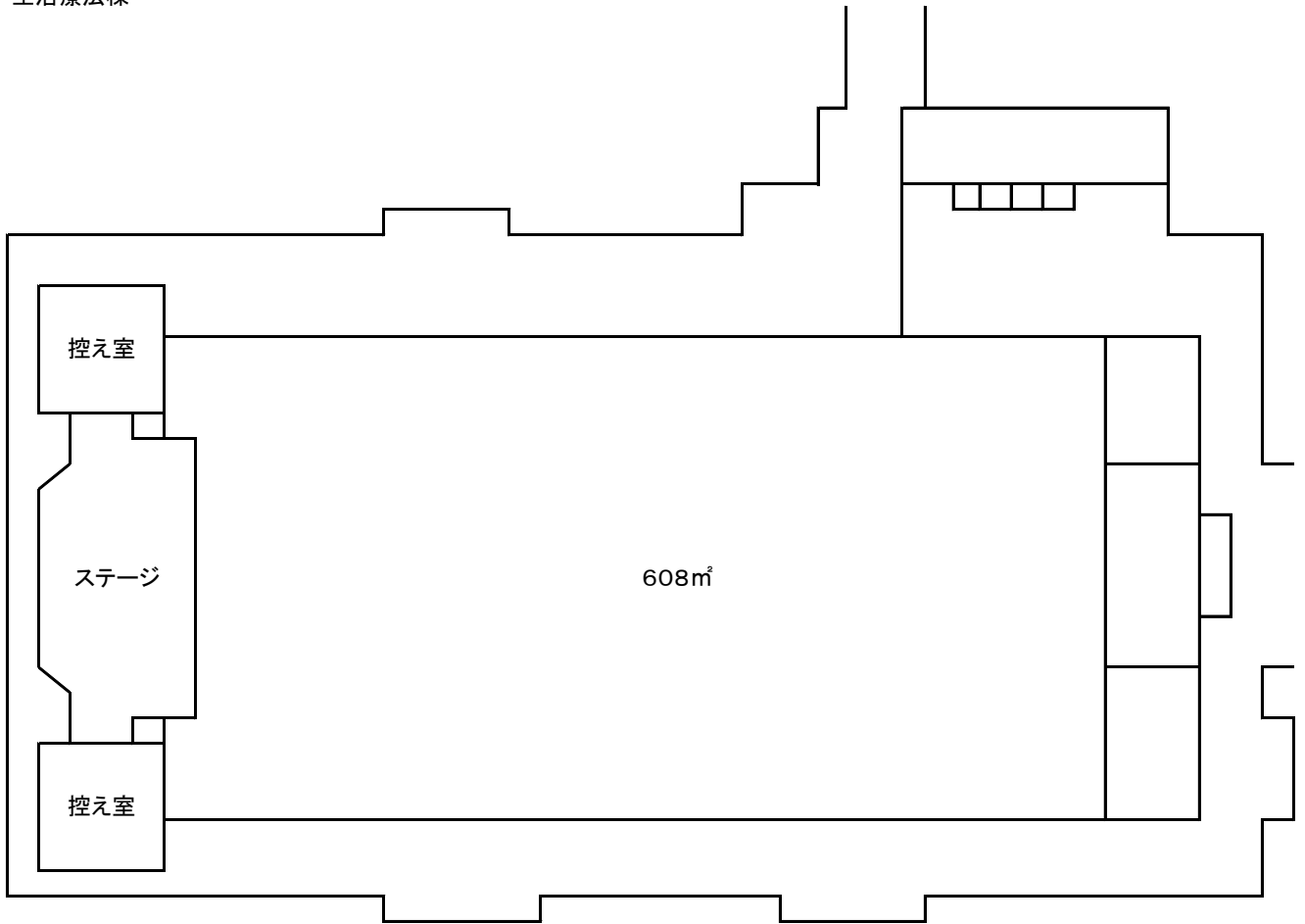
元1病棟



元2病棟



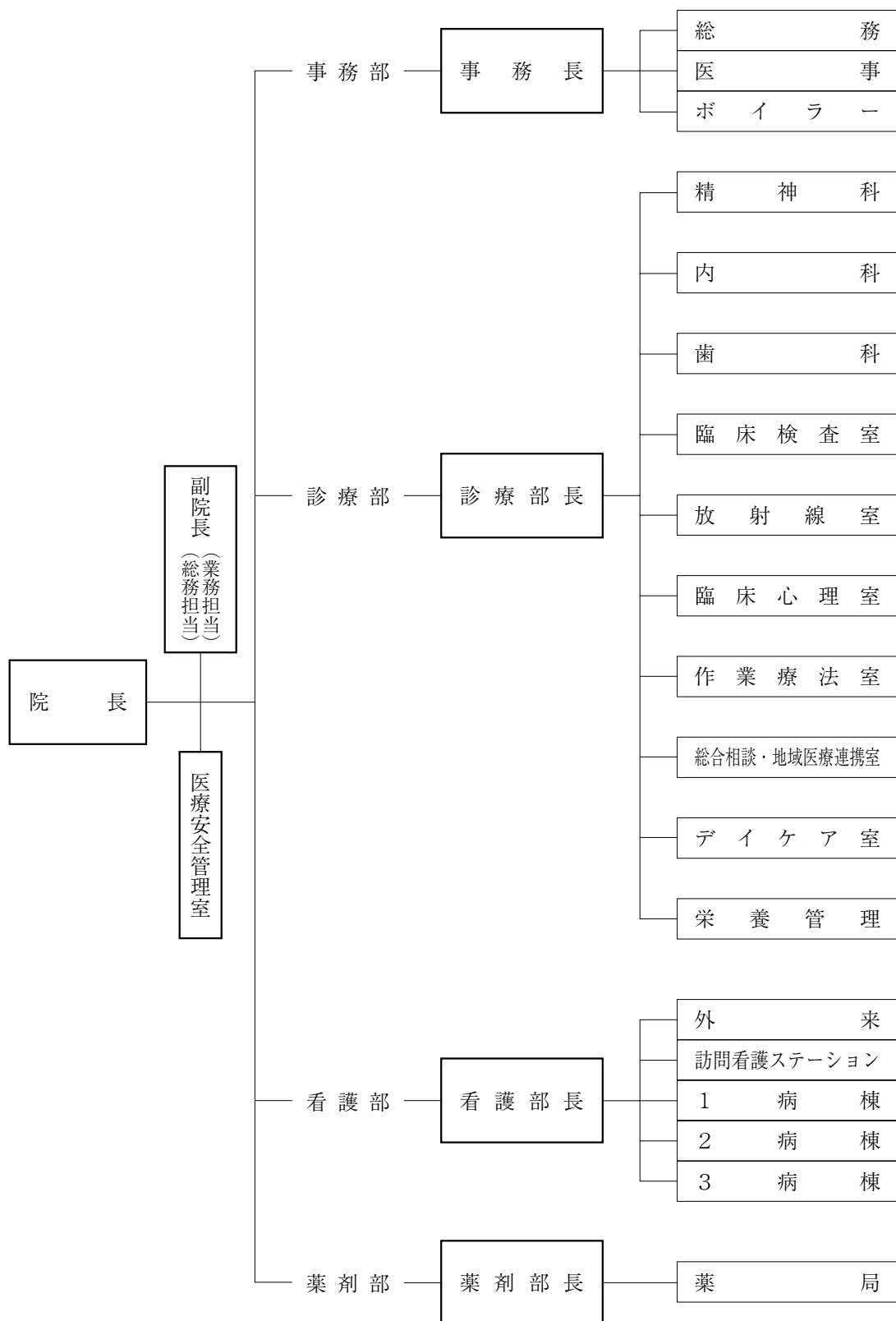
生活療法棟



3 組織・職員配置

3-1 組織・機構

令和元年6月1日現在



3 - (2) 職員配置状況

令和元年6月1日現在

職 種	区 分	定 数 職 員			嘱・委 託職員	定数外 職 員	合 計
		事務吏員	技術吏員	技労職員			
事 務 部	一 般 事 務	5				2	7
	医 事 事 務	2			2	1	5
	ボイラー技士			1			1
診 療 部	精 神 科 医 師		8		1		9
	内 科 医 師		1				1
	歯 科 医 師				1		1
	医 療 相 談 員	5				1	6
	作 業 療 法 士		5				5
	検 査 技 師		2				2
	放 射 線 技 師		1				1
	心 理 判 定 員		4				4
	看 護 師		5				5
	栄 養 士		2				2
	調 理 員			2		11	13
	給 食 員						0
看 護 部	看 護 師		79			2	81
	准 看 護 師		2			4	6
	看 護 助 手						0
薬 剂 部	薬 剤 師		3				3
	薬 事 事 務					1	1
合 計		12	112	3	4	22	153

※診療部の看護師（デイケア3・地域医療連携室2 計5名）

【看護部職員配置】

職 種	区 分	看 護 師		准看護師		看護助手		合 計
		男	女	男	女	男	女	
1	病 棟	8	15	1	1			25
2	病 棟	9	16	0	1			26
3	病 棟	4	14	0	0			18
	外 来	4	10					14
	訪問看護ステーション	3	6					9
合 計		28	61	1	2			92

平成31年3月31日現在

※入院患者	
定 床	実数
1病棟 (44)	33
2病棟 (45)	28
3病棟 (57)	38
146	99

3 - (3) 院内設置各種委員会

令和元年6月1日現在

① 法令等によるもの

ア 経営改善委員会（月1回開催）

病院経営の改善策を検討し患者サービスの向上と病院の合理的な管理経営の実現を図る。

【構成】院長、副院長（総務・業務）、診療部長、事務長、事務次長、看護部長、薬剤部長、事務部医事主任

イ 衛生委員会（年4回開催）

職員の健康管理及び健康保持増進対策並びに公務災害の防止対策等を図る。

【構成】院長、副院長（健康管理医）、衛生管理者、事務長、事務次長、矢吹病院分会代表3名、事務部総務

ウ 薬事委員会（年4回開催）

医薬品等取扱業務の適正かつ効率的な運営方法等を図る。

【構成】院長、副院長（総務・業務）、診療部長、事務長、薬剤部長、事務部医事主任、医局全員

エ 医療安全管理委員会（毎月第3月曜日開催）

医療事故を防止し、安全かつ適切な医療の提供を図る。

【構成】院長、副院長（総務）、診療部長、事務長、事務次長、看護部長、薬剤部長、事務部医事主任、各看護師長、各部門主任

オ 院内感染対策委員会（毎月第4火曜日等開催）

院内における感染症の予防の効果的、効率的な執行を図る。

【構成】院長、副院長（業務）、事務長、事務次長、看護部長、薬剤部長、各看護師長、各部門主任

カ 防災対策委員会（随時開催）

火災、震災、その他の災害の予防及び人命の安全並びに災害の防止を図る。

【構成】主任者会議構成メンバーに同じ

キ 医療ガス安全管理委員会（随時開催）

医療ガスの安全な管理を図る。

【構成】副院長（総務）、事務長、看護部長、薬剤部長、各病棟

ク 栄養管理委員会（年4回開催）

患者に対し療養上必要な栄養管理を適切な形態において行う。

【構成】副院長（業務）、事務次長、看護部長、各病棟看護師長、ダイケア、OT、薬剤、栄養管理主任、栄養管理栄養技師

ケ 器械備品整備計画調整会議（随時開催）

器械備品の整備に関し、適正な執行を図る。

【構成】経営改善委員会構成メンバーに同じ

コ 行動制限最小化委員会（月1回開催）

入院中の患者の行動制限の適切性及び妥当性を検討し基本的人権を擁護する。

【構成】副院長（総務）、看護部長、精神保健福祉士、事務部医事主任、各病棟師長、医療安全管理室

サ 褥瘡対策委員会（年4回開催）

褥瘡対策の効率的な推進を図る。

【構成】医師、看護部長、各病棟褥瘡対策専任看護師、薬剤、栄養管理、事務部医事主任

シ クロザリル運営委員会（年1回開催）

治療抵抗性統合失調症治療薬クロザリルの適正使用及び患者の安全確保を図る。

【構成】 院長、副院長（総務・業務）、診療部長、事務長、事務次長、看護部長、薬剤部長、事務部医事主任、医局全員、医療安全管理室、検査主任、連携主任、外来看護師長、各病棟看護師長、認定看護師

② 病院独自に設置しているもの

ア 主任者会議（毎月第3月曜日開催）

各部門への指示・連絡及び各部門の意見・連絡調整を行い、円滑な病院運営を図る。

【構成】 院長、副院長（総務・業務）、診療部長、事務長、事務次長、看護部長、薬剤部長、事務部医事主任、医局全員、各看護師長、各部門主任

イ 研究倫理委員会（随時開催）

当院の研究者等が人間を対象とした研究及び医療行為を行う場合、倫理的配慮を図る。

【構成】 副院長（総務）、事務長、看護部長、医学分野以外の学識経験者2名

ウ 患者サービス向上委員会（年4回開催）

当院における患者サービス及び院内環境の向上を図る。

【構成】 副院長（業務）、看護部長、医師、薬剤部、医療安全管理室、作業療法士、総合相談、デイケア、外来・各病棟看護師長、看護部看護師長、事務次長、事務部総務・医事

エ コンプライアンス委員会（随時開催）

当院における職員の法令遵守の意識の高揚を図る。

【構成】 主任者会議構成メンバーに同じ

オ 輸血療法委員会（随時開催）

輸血療法に関する事項を検討し、診療体制の確立に寄与する。

【構成】 副院長（業務）、薬剤部、事務部医事主任、医療安全管理室、検査室、3病棟師長

カ 病院改築プロジェクトチーム（毎月1回開催）

精神医療の充実強化及び病院の全面建替の検討を行う。

【構成】 院長、準備推進監、副院長（総務）、診療部長、事務長、事務次長、看護部長、事務部医事主任、看護部看護師長、外来、デイケア室、心理、訪問看護、1・3病棟師長、2病棟、事務部担当

キ 教育・研修委員会（年4回開催）

教育・研修計画を検討し、先進的な精神医療を提供できる人材を育成する。

【構成】 院長、副院長（総務）、診療部長、事務長、事務次長、看護部長、教育担当師長、心理、総合相談、デイケア

ク 広報検討チーム

広報を推進し、広く病院の活動を周知し理解の促進を図る。

【構成】 院長、医師、事務次長、作業療法室、臨床心理室、総合相談、訪問看護、外来、病棟、事務部担当

4 財務状況

4-1(1) 収支決算状況

(単位：千円)
(税込)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
病院事業収益	1,829,106	1,709,108	1,742,300	1,689,100	1,739,779	1,730,601	1,713,526	1,677,829	1,748,502	1,747,969
医業収益	1,061,653	951,776	1,096,093	984,203	1,038,257	920,589	924,611	961,791	943,970	877,743
入院収益	714,950	702,701	829,214	692,378	686,593	665,739	625,567	660,101	667,395	614,138
外来収益	162,874	156,412	162,204	167,534	172,960	177,965	192,414	185,631	150,495	177,780
その他医業収益	183,829	92,662	104,675	124,290	178,704	76,885	106,630	116,059	126,080	85,825
医業外収益	758,894	756,266	645,890	704,122	699,596	809,267	786,309	715,602	804,445	869,356
補助金・負担金	756,253	754,600	644,371	701,298	697,640	767,936	742,270	657,365	749,565	813,145
患者外給食収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他医業外収益	2,641	1,666	1,519	2,815	1,956	41,331	4,663	8,825	8,617	8,124
特別利益	8,559	1,067	317	775	1,926	745	2,605	436	87	870
病院事業費用	1,829,106	1,709,108	1,742,300	1,689,100	1,739,779	1,770,383	1,713,526	1,677,829	1,748,503	1,747,970
医業費用	1,804,675	1,686,467	1,720,210	1,678,571	1,731,833	1,652,665	1,686,187	1,671,909	1,712,439	1,733,446
給与	1,377,826	1,250,429	1,265,690	1,258,701	1,315,593	1,217,260	1,262,431	1,233,771	1,322,267	1,336,033
材料	170,105	163,082	183,727	169,041	174,680	174,826	178,256	157,120	87,839	93,221
経費	140,396	138,061	149,579	138,423	144,743	155,949	142,389	158,796	178,014	187,957
減価償却	95,168	116,562	90,623	91,932	75,684	81,975	79,656	89,531	81,142	74,599
資産減耗	6,252	4,532	15,126	3,204	1,229	3,486	2,617	7,309	2,401	810
研究修費	14,928	13,800	15,465	17,199	19,904	19,169	20,338	24,746	40,776	40,826
医業外費用	23,207	22,386	20,829	7,486	6,442	5,216	4,520	5,220	3,458	2,538
支払利息	11,227	10,406	8,849	7,486	6,442	5,216	4,520	3,842	3,199	2,538
繰延勘定償却	11,980	11,980	11,980	0	0	0	0	0	0	0
特別損失	1,224	255	1,261	3,044	1,504	112,502	22,818	699	32,605	11,986

4-(2) 経営分析

(単位：千円)
(税抜き後)

項目	算式	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
病床利用率(%)	$\frac{\text{年延入院患者数} \times 100}{\text{年延病床数}}$	70.6	69.2	79.5	66.9	65.3	62.1	78.6	78.6	73.0	68.3
入院外来患者比率(%)	$\frac{\text{年延外来患者数} \times 100}{\text{年延入院患者数}}$	27.9	28.5	24.1	30.3	30.2	31.6	35.4	38.8	50.6	61.3
患者一人一日当り医療収入	入院(円)	13,469	13,504	13,839	13,746	13,992	14,264	14,343	15,445	16,815	16,861
	外来(円)	10,983	10,553	11,224	10,959	11,678	12,046	12,438	11,191	7,497	7,958
患者一人一日当り薬品費(円)	$\frac{\text{薬品費}}{\text{年延入院外来患者数}}$	1,746	1,691	1,719	1,822	1,931	2,030	2,191	1,835	705	839
入院患者一人一日当りの給食材料費(円)	$\frac{\text{患者給食材料費}}{\text{年延入院患者数}}$	795	766	723	753	774	815	850	858	859	884
医業収益に対する職員給与費の割合(%)	$\frac{\text{職員給与費} \times 100}{\text{医業収益}}$	129.8	131.4	115.5	127.9	126.7	132.2	136.5	128.5	140.1	152.2
病床百床当り職員数(人)	$\frac{\text{年度末職員数} \times 100}{\text{運用病床数}}$	63.9	60.6	60.3	61.9	62.4	62.1	89.4	91.6	98.0	100.0

5 患者の状況

5- (1) 入退院及び外来患者の推移

区 分 年 度	入 院						外 来		
	病床数	入 院 患者数	退 院 患者数	延入院 患者数	一日平均 入院患者数	病 床 利用率	新 患 患者数	延外来 患者数	一日平均 外来患者数
平成21年度	206	47	50	53,083	145.4	70.6	323	14,821	61.2
平成22年度	206	105	64	52,035	142.6	69.2	270	13,814	56.8
平成23年度	206	96	133	59,917	163.7	79.5	434	14,451	59.2
平成24年度	206	80	93	50,368	138.0	67.0	427	15,281	62.3
平成25年度	206	130	135	49,071	134.4	65.3	205	14,804	60.7
平成26年度	206	140	137	46,673	127.9	62.1	211	14,762	60.5
平成27年度	149	160	180	43,613	119.2	78.6	293	15,454	63.6
平成28年度	149	189	194	42,739	117.1	78.6	251	16,571	68.2
平成29年度	146	208	216	39,691	108.7	73.0	383	20,065	82.2
平成30年度	146	165	165	36,423	99.8	68.3	486	22,331	91.5

※外来新患者数は、平成24年度までは一部初診も含んだ患者数で平成25年度以降は、新患のみの患者数である。

5- (2) 入院患者の経費区分の推移

各年度3月31日現在、 単位：人、()内は%

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
精神保健法	4(2.8)	6(3.3)	1(0.8)	5(3.7)	3(2.3)	2(1.5)	2(1.8)	2(1.9)	1(1.0)	1(1.0)
生活保護法	8(5.6)	17(9.2)	8(5.4)	7(5.2)	15(11.6)	11(8.3)	16(14.3)	15(14.0)	13(13.1)	16(16.2)
国 保	90(62.9)	111(60.3)	99(67.3)	84(62.7)	77(59.7)	84(63.3)	68(60.7)	64(59.8)	63(63.7)	56(56.6)
社 保	12(8.4)	21(11.4)	14(9.5)	17(12.7)	14(10.9)	12(9.1)	12(10.7)	10(9.3)	10(10.1)	12(12.1)
後期高齢者医療	29(20.3)	29(15.8)	25(17.0)	21(15.7)	19(14.7)	21(15.9)	14(12.5)	16(15.0)	12(12.1)	14(14.1)
そ の 他	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.8)	2(1.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
合 計	143(100)	184(100)	147(100)	134(100)	129(100)	132(100)	112(100)	107(100)	99(100)	99(100)

5- (3) 年度末入院形態別在院患者数の推移

各年度3月31日現在、 単位：人、()内は%

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
任意入院	57(39.9)	89(48.4)	59(40.1)	44(32.8)	53(41.1)	51(38.6)	44(39.3)	46(43.0)	28(28.3)	25(25.3)
医療保護入院	82(57.3)	89(48.4)	87(59.2)	85(63.5)	72(55.8)	77(58.3)	66(58.9)	59(55.1)	70(70.7)	73(73.7)
措置入院	4(2.8)	6(3.2)	1(0.7)	5(3.7)	3(2.3)	2(1.5)	2(1.8)	2(1.9)	1(1.0)	1(1.0)
緊急措置入院	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
そ の 他	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.8)	2(1.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
合 計	143(100)	184(100)	147(100)	134(100)	129(100)	132(100)	112(100)	107(100)	99(100)	99(100)

5-(4) 疾患別性別入院患者数の推移

各年度3月31日現在、単位：人、()内は%

統 合	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
(F2)	71	55	98	64	63	64	60	50	59	47	59	38	58	34	51	26	43	28	41	25
計	126(88.1)	162(88.1)	127(86.3)	110(82.2)	106(82.1)	106(82.1)	110(82.2)	110(82.2)	97(73.5)	92(82.1)	77(72.0)	71(71.7)	71(71.7)	71(71.7)	66(66.7)	66(66.7)	66(66.7)	66(66.7)	66(66.7)	66(66.7)
躁うつ病 (F3)	2	3	3	5	2	5	3	3	3	2	3	7	1	1	4	2	3	0	3	2
	5(35)	8(44)	7(47)	6(45)	7(54)	7(54)	6(45)	6(45)	10(76)	2(18)	6(56)	3(30)	3(30)	3(30)	5(51)	5(51)	5(51)	5(51)	5(51)	5(51)
	計	3	1	2	1	2	2	1	2	2	1	1	2	3	1	1	4	4	7	7
脳器質性精神病 (F0)	1	0	0	1	0	0	1	1	2	1	2	2	1	2	2	2	5	5	5	5
	4(28)	1(0.5)	2(1.4)	2(1.5)	3(2.3)	3(2.3)	2(1.5)	2(1.5)	4(30)	4(36)	3(28)	9(91)	9(91)	9(91)	12(121)	12(121)	12(121)	12(121)	12(121)	12(121)
	計	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中毒性精神病 (F1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0(0.0)	3(1.6)	1(0.7)	2(1.5)	2(1.6)	2(1.6)	2(1.5)	2(1.5)	3(2.3)	1(0.9)	2(1.9)	2(2.0)	2(2.0)	2(2.0)	5(51)	5(51)	5(51)	5(51)	5(51)	5(51)
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の精神病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0(0.0)	0(0.0)	2(1.4)	3(2.2)	3(2.3)	3(2.3)	3(2.2)	3(2.2)	3(2.3)	4(3.6)	13(121)	5(51)	5(51)	5(51)	3(30)	3(30)	3(30)	3(30)	3(30)	3(30)
	計	3	4	4	3	5	3	3	5	4	1	3	3	3	2	2	2	2	2	2
精神発達遅滞 (F7)	3	2	2	4	2	2	4	4	4	1	4	4	3	3	3	3	2	2	2	2
	6(42)	6(3.3)	6(4.1)	7(5.2)	6(4.7)	6(4.7)	7(5.2)	7(5.2)	9(6.8)	7(6.2)	4(37)	5(51)	5(51)	5(51)	4(40)	4(40)	4(40)	4(40)	4(40)	4(40)
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人格障害 (F6)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神経症 (F4)	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	3	3	0	0	0	0	1	1	0	0
	2(1.4)	1(0.5)	0(0.0)	1(0.7)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.7)	1(0.7)	0(0.0)	4(30)	0(0.0)	1(1.0)	1(1.0)	1(1.0)	1(1.0)	1(1.0)	1(1.0)	1(1.0)	1(1.0)	1(1.0)
	計	0	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
てんかん (G4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0(0.0)	3(1.6)	2(1.4)	3(2.2)	2(1.6)	2(1.6)	3(2.2)	3(2.2)	2(1.5)	2(1.8)	2(1.9)	3(3.0)	3(3.0)	3(3.0)	2(2.0)	2(2.0)	2(2.0)	2(2.0)	2(2.0)	2(2.0)
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	計	80	111	75	73	77	77	76	76	72	69	61	62	62	62	62	62	62	62	62
合 計	63	73	72	61	52	52	56	56	40	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	37
	143(100)	184(100)	147(100)	134(100)	129(100)	129(100)	132(100)	132(100)	112(100)	107(100)	99(100)	99(100)	99(100)	99(100)	99(100)	99(100)	99(100)	99(100)	99(100)	99(100)
	計	143(100)	184(100)	147(100)	134(100)	129(100)	129(100)	132(100)	132(100)	112(100)	107(100)	99(100)	99(100)	99(100)	99(100)	99(100)	99(100)	99(100)	99(100)	99(100)

5 - (5) 年齢別性別入院患者数の推移

各年度3月31日現在、単位：人、()内は%

年 度	区 分	~19歳	20 ~29歳	30 ~39歳	40 ~49歳	50 ~59歳	60 ~69歳	70歳~	合 計
平成21年度	男	0	2	5	10	23	19	21	80
	女	0	2	3	8	17	19	14	63
	計 %	0 (0.0)	4 (2.8)	8 (5.6)	18 (12.6)	40 (28.0)	38 (26.6)	35 (24.5)	143 (100)
平成22年度	男	1	5	5	12	22	41	25	111
	女	0	4	3	9	14	24	19	73
	計 %	1 (0.5)	9 (4.9)	8 (4.4)	21 (11.4)	36 (19.6)	65 (35.3)	44 (23.9)	184 (100)
平成23年度	男	1	4	3	9	16	20	22	75
	女	0	5	5	9	14	18	21	72
	計 %	1 (0.7)	9 (6.1)	8 (5.4)	18 (12.2)	30 (20.4)	38 (25.9)	43 (29.3)	147 (100)
平成24年度	男	0	6	2	6	18	24	17	73
	女	1	2	5	4	10	20	19	61
	計 %	1 (0.7)	8 (6.0)	7 (5.2)	10 (7.5)	28 (20.9)	44 (32.8)	36 (26.9)	134 (100)
平成25年度	男	0	7	6	7	18	23	16	77
	女	1	1	5	2	6	20	17	52
	計 %	1 (0.8)	8 (6.2)	11 (8.5)	9 (7.0)	24 (18.6)	43 (33.3)	33 (25.6)	129 (100)
平成26年度	男	1	4	4	11	17	23	16	76
	女	1	1	5	6	5	22	16	56
	計 %	2 (1.5)	5 (3.8)	9 (6.8)	17 (12.9)	22 (16.7)	45 (34.1)	32 (24.2)	132 (100)
平成27年度	男	1	4	2	10	20	23	12	72
	女	0	2	4	3	5	13	13	40
	計 %	1 (0.9)	6 (5.4)	6 (5.4)	13 (11.6)	25 (22.3)	36 (32.1)	25 (22.3)	112 (100)
平成28年度	男	2	2	1	13	14	25	12	69
	女	0	2	5	2	7	11	11	38
	計 %	2 (1.9)	4 (3.7)	6 (5.6)	15 (14.0)	21 (19.6)	36 (33.7)	23 (21.5)	107 (100)
平成29年度	男	1	4	2	11	13	21	9	61
	女	1	2	7	5	3	9	11	38
	計 %	2 (2.0)	6 (6.0)	9 (9.1)	16 (16.2)	16 (16.2)	30 (30.3)	20 (20.2)	99 (100)
平成30年度	男	2	3	3	5	10	26	13	62
	女	0	1	6	5	4	9	12	37
	計 %	2 (2.0)	4 (4.0)	9 (9.1)	10 (10.1)	14 (14.1)	35 (35.4)	25 (25.3)	99 (100)

5 - (6) 入院患者の在院期間別割合の推移

各年度3月31日現在

在院期間	年 度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	人	%										
3ヶ月未満	人		8	52	20	14	17	33	26	30	28	26
	%		(5.6)	(28.3)	(13.6)	(10.4)	(13.2)	(25.0)	(23.2)	(28.1)	(28.3)	(26.3)
3ヶ月～6ヶ月	人		4	5	10	12	16	16	10	6	12	7
	%		(2.8)	(2.7)	(6.8)	(9.0)	(12.4)	(12.1)	(8.9)	(5.6)	(12.1)	(7.1)
6ヶ月～1年	人		7	7	7	7	10	7	10	14	5	8
	%		(4.9)	(3.8)	(4.8)	(5.2)	(7.8)	(5.3)	(8.9)	(13.1)	(5.1)	(8.1)
1年～3年	人		17	10	14	19	19	25	21	18	19	24
	%		(11.9)	(5.4)	(9.5)	(14.2)	(14.7)	(18.9)	(18.8)	(16.9)	(19.2)	(24.2)
3年～5年	人		10	16	11	5	5	6	10	12	9	7
	%		(7.0)	(8.7)	(7.5)	(3.7)	(3.9)	(4.5)	(8.9)	(11.1)	(9.1)	(7.1)
5年～10年	人		35	28	27	27	12	10	10	8	10	13
	%		(24.4)	(15.2)	(18.4)	(20.2)	(9.3)	(7.6)	(8.9)	(7.5)	(10.1)	(13.1)
10年～15年	人		15	16	15	14	21	18	11	9	7	3
	%		(10.5)	(8.7)	(10.2)	(10.4)	(16.3)	(13.6)	(9.8)	(8.4)	(7.1)	(3.0)
15年～20年	人		14	16	13	7	7	2	4	4	4	6
	%		(9.8)	(8.7)	(8.8)	(5.2)	(5.4)	(1.5)	(3.6)	(3.7)	(4.0)	(6.1)
20年～30年	人		21	22	19	17	10	8	6	3	4	4
	%		(14.7)	(12.0)	(12.9)	(12.7)	(7.7)	(6.1)	(5.4)	(2.8)	(4.0)	(4.0)
30年以上	人		12	12	11	12	12	7	4	3	1	1
	%		(8.4)	(6.5)	(7.5)	(9.0)	(9.3)	(5.3)	(3.6)	(2.8)	(1.0)	(1.0)
合 計	人		143	184	147	134	129	132	112	107	99	99
	%		(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)

5 - (7) 平均在院日数の推移

	H.21	H.22	H.23	H.24	H.25	H.26	H.27	H.28	H.29	H.30
矢吹病院	1,094	616	523	582	370	337	257	223	187	221
福島県	360	335	298	331	326	329	315	315	303	-
全国	307	301	278	292	285	281	275	270	268	-

5 - (8) 在院期間別年度内退院患者の推移

(上段：実人数 下段：%)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
1ヶ月未満	12 24.0	15 23.4	24 18.0	19 20.4	2 1.5	24 17.5	41 22.8	37 19.1	44 20.4	25 15.1
1ヶ月～3ヶ月	17 34.0	27 42.2	30 22.6	23 24.8	8 5.9	45 32.8	56 31.1	93 47.9	116 53.7	95 57.6
3ヶ月～6ヶ月	6 12.0	9 14.1	14 10.5	17 18.3	23 17.0	25 18.2	42 23.3	29 14.9	23 10.6	26 15.8
6ヶ月～1年	3 6.0	0 0.0	45 33.8	7 7.5	54 40.0	12 8.8	15 8.3	12 6.2	11 5.1	10 6.1
1年～3年	3 6.0	7 10.9	3 2.3	8 8.6	27 20.0	10 7.3	12 6.7	9 4.6	13 6.0	4 2.4
3年～5年	2 4.0	1 1.6	2 1.5	4 4.3	4 3.0	2 1.5	3 1.7	4 2.1	1 0.5	1 0.6
5年以上	7 14.0	5 7.8	15 11.3	15 16.1	17 12.6	19 13.9	11 6.1	10 5.2	8 3.7	4 2.4
合計	50 100%	64 100%	133 100%	93 100%	135 100%	137 100%	180 100%	194 100%	216 100%	165 100%

5 - (9) 保健所別入院患者数

平成31年3月31日現在 (単位：人)

保健所名	人数	保健所名	人数	保健所名	人数		
県北	4	県中	24	県南	47		
会津	1	郡山市	8	いわき	3		
南会津	0	相双	12	県外	0	合計	99

5 - (10) その他のクリニカル・インジケーター (臨時指標)

① 再入院率

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
A	189	208	152
B	44	26	23
再入院率	23.3%	12.5%	15.1%

$$\frac{B : A \text{ のうち 3 カ月以内に入院歴のある患者数}}{A : \text{新入院患者数}} \times 100$$

② 残留率

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
C	160	189	208
D	15	20	13
残留率	9.4%	10.6%	6.3%

$$\frac{D : C \text{ のうち 1 年以上入院した患者数}}{C : \text{前年度の新入院患者数}} \times 100$$

③ 退院率

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
E	80	77	67
F	23	23	9
退院率	28.8%	29.9%	13.4%

$$\frac{F : \text{退院患者のうち 1 年以上入院した患者数}}{E : \text{1 年以上の入院患者数}} \times 100$$

④ 行動制限施行率

		平成28年度	平成29年度	平成30年度
隔離	施行日数	4,826	4,687	4,320
	施行率	11.3%	11.8%	11.9%
拘束	施行日数	34	136	240
	施行率	0.1%	0.3%	0.7%

$$\frac{\text{隔離 (拘束) 施行日数}}{\text{在院患者数 (延日数)}} \times 100$$

6 医療関係業務実施状況

6-1) レクリエーション療法

① 年間行事

病院全体の行事として療養生活に憩いや安らぎの場を提供するとともに、地域との触れ合いを重視し開かれた病院を目指す事を目的に実施しています。

【平成30年度実施状況】

実施日	行事内容	参加者
10月28日(日)	矢吹病院祭り	約380名
12月20日(木)	アニマルセラピー	約86名

② 図書

院内図書館は毎月第2、第4火曜日(14:00~15:00)貸し出しを実施。

平成30年度利用状況は、貸し出し4,072冊で、利用者158名であった。今後も患者のニーズに合った図書の貸し出しに努めていきます。

6 - (2) 作業療法

高齢化や地域移行などに伴う入院患者数の減少、外来利用者の増加により、作業療法プログラムの見直しを行っている。

ニーズの多様化もあり個別相談しながら、退院支援、生活支援を行っている。

① 年度別作業療法実施状況

(単位：延べ人数)

年 度	入院 OT	外来 OT	合 計
平成21年度	13,741		13,741
平成22年度	12,890	32	12,922
平成23年度	16,917	385	17,302
平成24年度	13,679	452	14,131
平成25年度	12,319	446	12,765
平成26年度	13,632	634	14,266
平成27年度	10,557	644	11,201
平成28年度	10,382	538	10,920
平成29年度	10,342	1,123	11,465
平成30年度	9,325	1,057	10,382

② 作業療法プログラム

	月	火	水	木	金
AM	2 病棟 3 病棟 外来	2 病棟 (病棟内) 3 病棟 外来	2 病棟 3 病棟 外来	2 病棟 3 病棟 外来	2 病棟 3 病棟 外来 調理実習
PM	1 病棟 外来	1 病棟 外来	1 病棟 外来	1 病棟 外来 外出	1 病棟 外来

ア 1 病棟

入院後、対象者の状態に応じて、病棟のホールや作業療法棟で行っている。

軽運動や散歩、作品づくりなどを通し、生活リズムや体力の回復、気分転換やストレス発散などの支援をしている。

イ 2 病棟・3 病棟

入院を余儀なくされている対象者が多く占めており、対象者の主体性に重きを置き、基本機能や活動性の保持、回復に向けて、対象者の馴染みのある活動や意味のある活動を行っている。

ウ 外来 OT

外来より紹介される対象者と入院時に作業療法を利用し、退院後も継続して利用する対象者がいる。退院の早期化もあり、対象者は多様であるが、生活上の課題に具体的に取り組めるよう支援を行っている。

エ 調理実習

より実用的な生活行為の訓練として調理実習を実施している。対象者自身がメニューを決め、材料の買い出し、調理、食事まで一連の流れをスタッフと共に行っている。

③ 作業療法科学生の受入れ

(単位：人)

校名 年度	山形 医療	岩手 リハ	東北 文化	郡山 健康	国際 医福	茨城 医療	仙台 リハ	健康 大学	東北 福祉	東北 保健	日本 医療	仙台 保健	計
平成21年度	-	1	1	1	-	1	-	2	-	-	-	-	6
平成22年度	-	1	1	1	-	1	-	1	1	-	-	-	6
平成23年度	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	2
平成24年度	-	1	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-	5
平成25年度	-	1	1	1	-	-	1	-	1	-	-	-	5
平成26年度	-	1	1	2	-	-	-	-	1	1	-	-	6
平成27年度	-	1	-	1	-	-	-	-	1	1	1	1	6
平成28年度	-	1	1	2	-	-	-	-	1	1	-	-	6
平成29年度	1	1	1	2	-	-	-	-	1	1	1	1	9
平成30年度		1	1	1	1(見学のみ)	-	-	-	1	1	1	1	8

【注】 国仙リハ：国立仙台病院付属リハビリテーション学院

岩手リハ：岩手リハビリテーション学院

東北文化：東北文化学園大学

郡山健康：郡山健康科学専門学校

東北福祉：東北福祉大学

国際医福：国際医療福祉大学

茨城医療：茨城県立医療大学

健康大学：健康科学大学

東北保健：東北保健医療専門学校

日本医療：日本医療科学大学

仙台保健：仙台保健福祉専門学校

山形医療：山形医療技術専門学校

6-(3) デイケア

平成元年5月からの試行期間を経て、平成3年4月厚生省認可のもとに福島県最初の精神科デイケアを開設した。

- ・地域で生活をしながら、デイケアへ通い、様々なプログラムや仲間との交流を通して、生活のしづらさを克服し、自立した生活を目指せる様に、各個人に合わせた関わりを行っている。
- ・スタッフ～NS 3名、OT 1名、心理 1名

① 性別・年齢別

区 分	男	女
20才未満	3	5
20～29才	3	2
30～39才	6	2
40～49才	14	3
50～59才	4	3
60～69才	8	6
70才以上	2	0
計	40	21

(平成31年3月末時点)

② 診断病名別

区 分	人数
統合失調症	39
気分障がい	2
発達障がい	5
その他 (ADHD、 児童思春期など)	15
計	61

(平成31年3月末時点)

③ 実施状況

年度	区分	登録数	実施日数	通所延人数	1日平均参加数
平成21年度		44	242	3,790	15.7
平成22年度		45	243	3,846	15.8
平成23年度		50	244	3,653	15.0
平成24年度		52	245	4,319	17.6
平成25年度		50	244	3,713	15.2
平成26年度		46	243	3,051	12.6
平成27年度		48	251	3,079	12.2
平成28年度		56	253	2,989	11.8
平成29年度		57	256	3,429	13.4
平成30年度		61	251	3,061	12.2

④ プログラム

- ☆創作活動（折紙手芸、パズル、ビーズ手芸 他）
- ☆スポーツ及びレク（ソフトバレー、ゲートボール、カラーリング、スカットボール 他）
- ☆心理教育・SST ☆栄養教室 ☆体操（貯筋体操、ふまねっと 他） ☆ミーティング
- ☆就労支援（ジョブスキルトレーニング、就労準備プログラム） ☆当事者研究
- ☆その他 季節の行事、個人面接

8:30	9:30	10:00	10:15	12:00	13:00	15:00	15:30
個別指導 自主活動	体 操	ミ ー テ ィ ン グ	創作活動 自主活動 各種プログラム	昼 食	体 操	スポーツ レク	ミーティング

6-(4) 訪問看護ステーション

(1) 訪問看護

当院の訪問看護は外来治療の一環として平成8年に開始する。

精神医療の動向の変化や、患者の地域生活を促進する動きにより、訪問看護の必然性を背景に当院の訪問看護の件数も徐々に増加した。それを受けて、平成19年に訪問看護室を設立する。

ケア会議や小会議など必要時に随時開催し、他職種や地域との調整・連携を図り、充実した訪問看護の提供を行っている。平成27年4月から、未治療、治療中断、ひきこもり、長期入院者の退院後、重度の精神障がい者を対象に、幅広く、質の高い支援を提供するアウトリーチを開始する。

平成29年4月から、訪問看護ステーションを開設し、当院の外来患者に限らず、県中、県南地域のクリニックや病院からの紹介をいただいて訪問看護を提供している。

① 訪問看護登録者数【平成30年度：146名】

② 年度別訪問看護実施状況

年度	区分	訪問看護件数	年度	区分	訪問看護件数
平成13年度		747	平成22年度		1,688
平成14年度		780	平成23年度		1,728
平成15年度		837	平成24年度		1,860
平成16年度		836	平成25年度		1,840
平成17年度		1,013	平成26年度		2,225
平成18年度		1,259	平成27年度		2,504
平成19年度		1,405	平成28年度		2,696
平成20年度		1,776	平成29年度		3,868
平成21年度		1,820	平成30年度		4,701

(退院前訪問看護を含む)
(〃)
(〃)
(〃)
(〃)
(〃)

③ 性別・年代別内訳

区 分	男	女
10～19才	0	3
20～29才	4	2
30～39才	7	5
40～49才	15	12
50～59才	22	14
60才以上	31	31
計	79	67

⑤ 診断病名別内訳

区 分	人 数
統合失調症	102
躁うつ病	8
うつ病	3
精神遅滞	5
てんかん	2
老人性精神病	0
発達障害	7
覚醒剤中毒後遺症	1
強迫性障害	0
不安神経症	1
妄想性障害	1
適応障害	3
認知症	3
アルコール依存症	1
その他	6
高次機能障害	1
身体表現性障害	2
計	146

④ 地域別内訳

区 分	女
矢 吹 町	34
白 河 市	52
須 賀 川 市	12
石 川 町	9
西 郷 村	6
泉 崎 村	3
中 島 村	7
玉 川 村	1
棚 倉 町	1
郡 山 市	6
平 田 村	4
田 村 市	2
鏡 石 町	3
天 栄 村	3
塙 町	1
矢 祭 町	0
大 玉 村	0
浅 川 町	2
小 野 町	0
計	146

(2) アウトリーチ

平成27年5月から未治療や治療中断、ひきこもり、長期入院後の退院、対応が困難な方を対象に病院の専門職がチームを組んで、地域の保健や福祉と協働で訪問支援を行っている。

対象者との関係構築を行いながら、ご本人や周囲の方の困りごとの解決や医療へ繋ぐこと、本人の希望が叶うというような豊かな生活への支援など幅広く、質の高い支援を提供している。

①相談件数 11件

②事例検討件数 5件

③訪問支援件数 82件

④ 相談件数の年齢別内訳

年 齢	件 数
～19才	1
20～29才	2
30～39才	3
40～49才	2
50～59才	1
60～69才	2
70～79才	0
80～89才	0
不 明	11

⑤ 相談件数の種類別内訳

種 類	件 数
治 療 中 断	3
ひきこもり	4
困 難 ケ ー ス	0
未 治 療	4
そ の 他	11

6-(5) 認知症疾患医療センター

当院では認知症疾患に関する診断・治療、専門医療相談を実施する「認知症疾患医療センター」について福島県より平成29年6月に指定をうけ運営を開始している。

当センターには、認知症に関する専門知識を有する医師、臨床心理技術者、精神保健福祉士等を配置しており、本人や家族からの相談、かかりつけ医からの紹介、市町村、地域包括支援センター等の関係機関からの医療相談を実施している。

また、認知症の早期発見・早期対応のために、認知症疾患医療連携協議会を開催することで地域連携を強化するとともに、認知症に係る研修会を実施した。

- ① 鑑別診断件数 67件
- ② 相談件数 244件
- ③ 入院件数 16件
- ④ 認知症疾患医療連携協議会

構成員：県南地区の市町村、地域包括支援センター、医師会、医療機関、家族の会、県南保健福祉事務所等

ア 認知症疾患医療連携協議会

内容：センター実績報告、認知症初期集中支援チーム活動状況報告、認知症カフェ実施状況報告等

イ 認知症疾患医療センター研修会

内容：認知症診療の実践から学ぶべきこと。 参加者：97名

6-(6) 心理社会療法

当院では平成22年度に心理教育部が発足され、ア集団心理教育、イ個人心理教育、ウ家族心理教育を3本柱とし『いつでもどこでもだれでも心理教育』をスローガンに活動してきた。さらに、平成25年度には心理教育とSSTを統合した心理社会療法部が発足され、「病気や薬に対する正しい知識の獲得」「コミュニケーション能力を高める事で、よりよい生活を自主的に送られるようになる」を目的とし活動をしている。また平成27年度から精神疾患を持ちながらも社会生活を送っている方と入院患者さんが双方向的に話せる場としニコの会の活動も始めた。

家族心理教育では家族心理教育ネットワークより平成24年度に4名、平成26年度に3名がインストラクターの認定を受け、県内外の施設や病院を対象に平成29年1月に3回目となる「標準版家族心理教育研修会 in ふくしま」を開催した他、山形県で開催された標準版家族心理教育研修会において、依頼を受けインストラクターとして研修会に参加するなど県外での活動も実施してきた。

【平成30年度実績報告】

① 集団心理教育

集団心理教育はニコの会（全病棟患者さん、デイケア通所中または外来通院患者さん当事者を支える家族を対象に、参加者が双方向的に話し合える場）とオープン（入院患者さんを対象に病気について広く関心を持ってもらう、あるいは自由に話せる場として各病棟単位で行う）に分けて実施した。

ア ニコの会

当院に入院、またはデイケアや外来に通所・通院している患者さん当事者を支える家族が誰でも参加でき集まれる場になっている。「各テーマに沿って自分の思いや経験、アドバイスやアイディアの提示など自由に話せる場」「ピアサポーターとの交流の場」「当院医師など専門職から話を聞く場」「コミュニケーション技法を実体験できる場」など、内容は充実したものとなった。

実施回数：17回 延べ参加人数：146名 平均参加人数：8.5名

イ オープン

1 病棟は急性期閉鎖病棟、2 病棟は慢性期閉鎖病棟、3 病棟は社会復帰閉鎖病棟という体制となり、各病棟の機能にあった活動が出来るよう実施してきた。

1 病棟 オープン参加での実施ではなく、個人心理教育を実施した。

2 病棟 全13回実施 延べ参加人数：126名 平均人数：9.6名

3 病棟 全51回実施 延べ参加人数：937名 平均人数：18.4名

② 個人心理教育

急性期病棟や個別ニーズの高い患者様を対象とし「薬剤管理指導」「退院準備プログラム」を実施した。

ア 薬剤管理指導（薬剤師実施件数）

1 病棟 実施人数：19名 実施回数：25回

2 病棟 実施人数：6名 実施回数：9回

3 病棟 実施人数：6名 実施回数：15回

イ 退院準備プログラム

1 病棟 実施人数：63名 実施回数：193回

2 病棟 実施人数：16名 実施回数：20回

3 病棟 実施人数：24名 実施回数：57回

ウ 家族心理教育

平成23年4月より入院または退院患者様の家族を対象に、毎月第4土曜日の午後開催している。教育セッションとグループワークを通し「家族の健康度」「対処技能」の向上を目指し、1クール5回の設定で実施した。セミクローズドの形式で毎月平均4～5名の家族が参加され、家族同士の体験の共有や相談事に対するアイデアの提示など「なんでも話せる場」として定着してきた。新規参加の家族も増えてきており、参加者から相談会に対しての高い評価をいただき、毎回充実したものになっている。

エ 思春期家族教室

平成26年1月より思春期外来通院患者様の家族を対象に開始した。他の病院から紹介されるケースも多く、地域への周知がされてきている。令和元年度からは家族相談会の開催も予定している。

【平成31年度活動概要】

心理社会療法部

平成27年度より病棟体制が変わり、機能別をふまえた活動内容に変更してきた。今年度はさらに各病棟の機能にあった活動を充実させていく。また『入院医療中心から地域生活中心へ』という国のビジョンに基づき「病気や薬に対する理解を深め、再発防止のための方法、社会資源の利用など学習機会を設けることにより、治療効果の強化と再発防止策の一助とする」「病気や薬に対する正しい考えや知識の獲得、コミュニケーション能力を高める事で、よりよい地域生活を自主的に送られるようになる」これらを目的に、ピアサポーターと交流の場を増やし地域移行支援が出来るよう活動していく。

6-(7) 栄養管理

病院における食事は入院患者様の楽しみのひとつであり、明日への希望の源であると同時に治療の一環として極めて重要な位置を占めている。

管理栄養士・栄養士が食事摂取基準に準じ患者様個人の状態に合わせた献立を作成し、調理方法、味付け、盛り付け、配膳等については患者様の食習慣や嗜好を考慮し、安全でおいしい食事の提供を行っている。七夕やクリスマス、節分等の季節の行事には、内容に合わせて行事食を取り入れている。

また、患者様の栄養状態を把握し、必要な栄養量が充足できるよう他職種と協同し、食事形態等の検討や食事相談を行っている。

食事を通して正しい食習慣のあり方や生活習慣病の予防について理解を深めていただくため、病棟やデイケアの協力を得て、管理栄養士が定期的に栄養教室を開催している。

生活習慣病等の改善や食事療法に関しての知識の習得が必要な方に対しては、医師の指示のもと個別に管理栄養士が栄養指導を行っている。

7 医療安全管理室

7-(1) 基本方針

患者様、家族の安全を最優先に考え、病院職員の安全確保も忘れることなく安全で質の高い医療の提供に努めます。

7-(2) 医療安全の取り組み

当院は、平成16年4月より医療安全委員会、及びリスクマネジメント部会を設置し医療安全に努めてきました。また、平成19年9月より医療安全管理室が新たに設置し、専任リスクマネージャーを配置しました。(当院名称ゼネラルリスクマネージャー：GRM)

① 医療安全管理室の役割

- ア 予防：医療事故防止対策のための院内研修の実施。
- イ 情報管理：インシデントレポートからのリスク分析、情報収集・広報。
- ウ コンサルテーション：職員・患者様との面談、問題解決の支援。
- エ コーディネート：院内の各部署間、職種間の調整。時には院外の組織、専門職との調整。
- オ アドバイザー：組織のリスクマネジメント管理に関する意思決定の支援。

② 活動内容

インシデント報告への対応

- ・ インシデントレポート報告の収集、分析、具体的な改善案の提案、分析結果のフィードバックと収集結果の管理を行います。
- ・ 医療安全に関する現場の実態調査と予防活動に取り組みます。
 - i：現場の情報収集及び実態調査、定期的なパトロール・点検マニュアルの遵守状況の点検をします。
 - ii：マニュアルの点検と見直しの提言をします。

③ 医療安全に関する情報管理及び情報発信への取り組み

- ・ 医療事故及び医療事故防止に関する最新情報の把握と職員への周知を行います。(定期的にニュースを発行する。医療安全に関する情報や訴訟問題等々)

④ 医療安全管理のための院内教育研修活動

- ・ 個々の職員の安全に対する意識、安全に業務を遂行するための技能やチームの一員としての意識向上を図るため医療に係る安全管理のための基本的な考え方及び具体策について、研修を行います。(医療安全研修会を定期的に開催する)

⑤ 各種医療安全に関する会議の参画、運営支援を行う。

平成30年度インシデントレポート件数について (アクシデントレポートは別集計)

◆レベル別件数

レベル区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
0		26	30	30	26	22	15	17	15	25	21	18	23	268	22.3
1		35	28	23	28	20	33	40	32	36	35	16	39	365	30.4
2		38	31	16	29	14	9	14	13	14	12	11	14	215	17.9
3a		5	3	5	4	2	3	4	4	8	2	6	3	49	4.1
計		104	92	74	87	58	60	75	64	83	70	51	79	897	74.8

※平成29年度インシデントレポート件数 (1,230件)

インシデント・アクシデントのレベル区分 (報告時点)

	レベル	傷害の持続性	傷害の程度	
インシデント	レベル0	-		エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者には実施されなかった。
	レベル1	なし		患者への実害はなかった。(何らかの影響を与えた可能性は否定できない)
	レベル2	一過性	軽度	処置や治療は実施されなかった。(観察強化、バイタルの軽度変化、検査などの必要は生じた)
	レベル3a	一過性	中程度	簡単な処置や治療を要した。(消毒、湿布、鎮痛剤の投与、縫合など)
アクシデント	レベル3b	一過性	高度	濃厚な処置や治療を要した。(バイタルサインの高度変化、人工呼吸器装着、手術、入院の延長、骨折)
	レベル4a	永続的	軽度～中程度	永続的な障害や後遺症が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題は伴わない。
	レベル4b	永続的	中程度～高度	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題は伴う。
	レベル5	死亡		死亡。(原疾患の自然経過によるものを除く)

8 医療ソーシャルワーク実施状況

8-(1) 面接活動等

【平成30年度実施状況】

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1 入院時面接	12	16	8	13	7	15	12	11	11	6	13	14	138
2 経済的問題	71	82	84	106	91	60	59	62	36	36	54	78	819
3 地域移行・地域生活支援	197	253	172	185	245	228	211	201	174	165	169	209	2,409
4 家族調整	30	27	21	23	33	21	28	17	23	27	28	53	331
5 受療上・心理的援助	150	165	131	168	208	185	211	194	206	177	144	190	2,129
6 ケース会議	90	73	66	70	69	49	60	67	71	83	50	79	827
7 医療観察法	11	10	5	8	1	0	2	0	0	0	0	0	37
8 退院支援委員会	6	8	3	7	5	7	17	5	3	6	7	6	80
計	567	634	490	580	659	565	600	557	524	500	465	629	6,770

8-(2) その他

- ア 心神喪失者等医療観察法に基づく、指定通院医療機関としての援助及び関係機関との連絡調整
- イ 精神科訪問看護、精神科退院前訪問看護等の実施協力
- ウ アウトリーチ事業の実施協力
- エ 福島県保健福祉部障がい福祉課マッチング事業実施協力
- オ 矢吹病院家族会事務局担当（17 家族会活動状況の項参照）
- カ 福島県精神保健福祉協会県南支部事務局

9 臨床検査実施状況

(単位：件)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
臨床検査	26,608	24,407	28,692	35,485	38,241
1 一般検査	1,096	1,017	1,088	1,204	1,300
2 生化学検査	20,099	18,129	21,202	25,265	26,805
3 血液検査	3,029	2,834	3,356	4,390	5,237
4 生理検査	396	407	525	660	650
5 病理検査	0	0	0	0	0
6 細菌検査	60	71	66	49	27
7 免疫検査	305	376	436	511	511
8 その他	7	13	14	9	6
9 外部委託検査	1,407	1,341	1,798	3,198	3,473
10 患者外検査	209	219	207	199	231
X 線	522	376	489	506	487
C T	265	237	268	292	288

10 臨床心理業務実施状況

10- (1) カウンセリング等心理療法的業務

【平成30年度実施状況】

区 分	件 数
個人面接、カウンセリング (家族、学校関係者との面談を含む)	1,672
集 団 療 法	272
合 計	1,944

10- (2) 心理検査

【平成30年度実施状況】

① 発達及び知能検査			
検 査 名	件数	検 査 名	件数
田中ビネ-V	88	S-M社会生活能力検査	86
WISC-IV	332	遠城寺式	7
JART	37	K式発達検査	7
PVT-R	26	コース立方体	28
WAIS-III (IV)	149		
小		計	
		760	
② 人格検査			
検 査 名	件数	検 査 名	件数
ロールシャハテスト	39	TEG	29
描画(人物、バウム、家族等)	60	P-F	83
SCT	44	Y-G	7
MMPI	64		
小		計	
		326	
③ その他の検査			
検 査 名	件数	検 査 名	件数
長谷川式簡易スケール	49	MOCA	8
WMS-R	5	BGT	11
MEDE	3	親子関係検査	26
LSAS-J	9	一般職業適正検査	6
ADI-R	25	MMSE	32
AQ日本版	97	K-ABC II	141
CARS	8	ベック II	2
PARS-TR	195	Conners 3	163
CAARS	46	Vineland II	5
SDS	6	FAB	36
SMQ-R	5	CDT	32
ADAS cog	1	ASQ	11
BADS	6	ASSQ	2
標準失語症検査	1	ADHD-RS	9
感覚プロファイル	4	MSPA	24
小		計	
		968	
総 計 (① + ② + ③)			2,054

11 薬事の状況

【採用医薬品】

(平成31年4月1日現在)

	採用数	先発薬	後発薬	後発薬採用率
内用薬	325	266	59	18.2%
注射薬	85	73	12	14.1%
外用薬	68	52	16	23.5%
計	478	391	87	18.2%

【調剤状況1】

区分 年度	処方箋枚数		調剤数	
	入院	外来	入院	外来
平成21年度	13,101	9,760	24,614	28,329
	22,861		52,943	
平成22年度	12,392	8,750	23,550	23,929
	21,142		47,479	
平成23年度	14,627	9,000	28,003	24,285
	23,627		52,288	
平成24年度	12,459	8,773	24,005	22,864
	21,232		46,869	

【調剤状況2】

区分 年度	処方箋枚数(院内)					調剤数(院内)					院外	注射箋
	入院	外来				入院	外来				枚数 (精+内)	全体 枚数
		精神科	内科	歯科	計		精神科	内科	歯科	計		
平成25年度	11,909	8,262	686	16	8,964	21,632	21,384	1,743	29	23,156	5	未集計
	(全体 20,873枚)					(全体 44,788剤)						
平成26年度	11,676	8,369	697	33	9,099	22,380	21,468	1,891	53	23,412	0	1,297
	(全体 20,775枚)					(全体 45,792剤)						
平成27年度	10,146	8,657	540	23	9,220	20,532	22,843	1,881	43	24,767	0	1,370
	(全体 19,366枚)					(全体 45,299剤)						
平成28年度	9,946	7,141	515	18	7,674	20,487	18,585	1,806	25	20,416	2,399	1,470
	(全体 17,620枚)					(全体 40,903剤)						
平成29年度	9,480	82	0	26	108	21,858	267	0	43	310	12,051	1,731
	(全体 9,588枚)					(全体 22,168剤)						
平成30年度	8,921	27	0	17	44	22,284	43	0	28	71	13,243	1,430
	(全体 8,965枚)					(全体 22,355剤)						

【服薬指導件数】

平成25年度	111件	平成28年度	0件
平成26年度	103件	平成29年度	40件
平成27年度	88件	平成30年度	49件

【薬品購入額（税込）】

(円)

	内服	注射	外用	防疫・その他	購入額合計
平成21年度	112,549,649	2,500,108	1,515,202	1,006,051	117,571,010
平成22年度	112,469,723	2,602,865	1,262,331	467,038	116,801,957
平成23年度	118,648,828	4,102,911	1,407,782	514,266	124,673,787
平成24年度	113,799,380	4,312,498	1,406,064	453,722	119,971,664
平成25年度	119,819,411	5,226,029	1,507,475	478,043	127,030,958
平成26年度	116,704,020	4,645,750	1,406,423	633,593	123,389,786
平成27年度	120,757,180	5,705,726	1,499,803	563,460	128,526,169
平成28年度	105,279,492	6,367,601	1,192,954	931,189	113,771,236
平成29年度	25,213,295	10,691,244	1,087,230	1,076,789	38,068,558
平成30年度	32,267,796	15,013,023	992,744	943,049	49,216,612

12 給食実施状況

【患者及び患者外給食の状況】

区 分 年 度	患 者 食				デイケア (昼のみ)	合 計
	一 般 食		特 別 食			
	普通食	軟 食	加算対象食	非加算対象食		
平成21年度	45,784	33,421	35,291	41,395	3,208	159,099
平成22年度	50,456	30,832	35,300	38,026	3,233	157,847
平成23年度	63,356	36,836	34,869	40,188	3,451	178,700
平成24年度	52,528	37,990	26,926	29,403	3,840	150,687
平成25年度	67,397	35,083	19,847	20,604	3,293	146,224
平成26年度	69,026	34,752	17,585	14,037	2,676	135,820
平成27年度	66,043	30,903	14,804	14,664	2,336	128,750
平成28年度	62,719	38,385	12,365	10,720	2,594	126,783
平成29年度	55,632	37,639	14,364	7,114	2,951	117,700
平成30年度	50,181	31,988	15,358	7,995	2,324	107,846

13 看護活動の状況

13- (1) 病棟別看護概要

病棟	定数	病棟概要
一 病 棟	男女混合 44 (保護室8床)	<p>1病棟は、救急急性期病棟として3ヶ月以内の治療を行う男女混合の閉鎖病棟です。日頃患者さんの安全に十分配慮し、安心して治療が受けられるよう環境を整えており、3人夜勤体制で密度の濃い看護を提供しています。</p> <p>治療は、主として薬物療法や精神療法を行います。治療上の必要性から特に隔離・拘束が行われる場合もあります。その際は、患者さんの人権や倫理的配慮を遵守した対応をしております。</p> <p>入院から患者さんの退院後の生活を目指した関わりが行われ、ケースカンファレンスや多職種でのケア会議で患者さんや家族の意向を尊重しながら地域移行支援を進めています。また、作業療法の導入や社会生活に上手く適応していくための技能獲得や疾病教育・再入院予防などを目的に社会心理療法も行っております。</p> <p>病棟スタッフ一人一人がより良い看護が提供できるよう、院内・院外研修に参加し自己研鑽に努めています。</p>
二 病 棟	男女混合 45 (保護室6床)	<p>男女混合の重症治療閉鎖病棟として、慢性期で症状の安定しない対応困難患者や治療抵抗性のある患者を対象としている。疾患は統合失調症、感情障害、発達障害、知的障害、認知症、多飲症と多様です。</p> <p>治療は薬物療法・精神療法を中心に、個別性を重視し、地域社会移行を念頭に看護を展開しており、現在は、治療抵抗性のある患者に対して、クロザリルの使用も開始しています。</p> <p>看護提供方式は、モジュラーナーシングを導入し、勤務態勢も夜勤は各3名の3交代制で密度の濃い看護を提供しています。</p> <p>入院中は、当事者の「夢や希望」を大切に、多職種でケア会議を家族・本人も含め開催し、地域移行支援を推進しています。病棟内活動として、OTRによる作業療法、心理社会療法（心理教育・SST・レク）を導入し、治療意欲が持てるようにグループや個別に関わっています。</p>
三 病 棟	男女混合 57 (けやき5床)	<p>男女混合の社会復帰閉鎖病棟です。患者個々の病状、家族状況を踏まえながら安全で安心して入院生活を送れるように努めています。</p> <p>また、多職種と連携を図りながら退院促進に取り組んでおり、作業療法（調理実習を含む）を始め、服薬自己管理、現金自己管理、院外単独外出・外泊、他施設への試験外泊など自主性を尊重し地域社会移行を踏まえ生活の向上に努めています。更に心理社会療法として心理教育、SSTを統合して行っております。</p> <p>日常生活面では身体機能の維持と気分転換が図れるように毎月の目標を立て、レクリエーションや体操を行っています。</p>

13-(2) 院内教育実施状況

平成30年度現任教育（研修）実施結果

平成31年3月

	研修項目	テーマ	日時	参加者数 (延べ)	対象者	講師
オリエンテーション	新規採用・転入者オリエンテーション	プログラム研修	4/3～11	146名	新規採用者・転入者・長期休暇復職者	横山院長・看護部長・専門職種
医療安全研修	CVPPP	プログラム研修	5/17・30 6/7・21 7/5 11/15・29	45名	新規採用者・転入者	CVPPPトレーナー
	医療安全	事故発生時の対応	4/26 5/29 9/21	99名	全職員	滝田GRM
		AEDの取り扱い	7/30 8/28 11/28	88名	全職員	日本光電工業 菅野知磯先生
		窒息時の対応	6/13	24名	看護職員	角田副院長
		転倒・転落	10/17	8名	看護職員	テクノスジャパン 玉置智之先生
		医療機器 「輸液ポンプの取り扱いと異常発生時の対処」	1/22	9名	看護職員	(株)トップ講師
	医療ガス	医療ガスの安全な取り扱いについて	2/13	8名	看護職員	高橋精神科認定看護師
				3/14	9名	看護職員
行動制限最小化研修	行動制限最小化	行動制限最小化委員会で決定	12/25	39名	全職員	行動制限最小化委員会
		行動制限最小化委員会で決定	1/28	28名	全職員	行動制限最小化委員会
	身体拘束	身体拘束マスター研修	毎月 第2・4(木)	463名	看護職員必須	安田精神科認定看護師
接遇研修	接遇	接遇とは *グループワークを通して考える	1/10 2/28 3/7	111名	全職員	佐藤看護部長
院内感染対策研修	感染対策	手指衛生	5/16 7/18 11/14 1/16	97名	全職員	大津感染管理認定看護師
		食中毒について	6/29	33名	全職員	吉田製薬 宮崎努先生
		インフルエンザについて	10/26	30名	全職員	吉田製薬 宮崎努先生
		消毒薬の取り扱い	2/20	20名	全職員	吉田製薬 宮崎努先生
		流行性ウイルス性疾患対策	6/20 8/16 9/20	97名	全職員	大津感染管理認定看護師
		多剤耐性菌対策	4/19 7/11	16名	看護職員	大津感染管理認定看護師
		ノロウイルス対策・吐物処理法	10/18	5名	看護職員	大津感染管理認定看護師
		性感染症対応	12/20	12名	看護職員	大津感染管理認定看護師
倫理	職業倫理	職業人としての倫理	10/26	11名	看護職員	佐藤看護部長
トピックス研修会	治療プログラム研修会	物質使用障害治療プログラム「SMARPPの理念と意義」	4/24	46名	全職員	国立精神・神経医療センター 松本俊彦先生
		アルコール治療プログラムの実際	毎週(木)	130名	アルコール関係スタッフ	菊地先生
	医療観察法	医療観察法Ⅰ 成立経緯・目的・概要	7/19・31 8/28 9/11	27名	全職員	野中精神科認定看護師
		医療観察法Ⅱ 医療観察法の現状	10/15 11/14 12/12	24名	全職員	野中精神科認定看護師

	研修項目	テ ー マ	日 時	参加者数 (延べ)	対象者	講 師
トピックス 研 修 会	D P A T	D P A Tについて	10/16	14名	全職員	障がい福祉課 鈴木紀隆先生
		精神保健福祉法について	11/30 12/3・6・7	52名	全職員	根本精神保健福祉士
		てんかんについて	11/19 1/28 3/25	27名	全職員	角田副院長
		統合失調症の薬物療法	12/18	51名	全職員 地域関連医療 施設	千葉大学
プリセプター研修		看護記録とパス	4/25	6名	新規採用者・ 転入者	高橋師長
		精神科における薬物療法	5/23	7名	新規採用者・ 転入者	高橋精神科認定看護師
		社会資源	6/27	9名	新規採用者・ 転入者	根本精神保健福祉士
		身体拘束マスター制度研修	7/12	8名	新規採用者・ 転入者	安田精神科認定看護師
		エビリファイ学習会	7/25	8名	新規採用者・ 転入者	大塚製薬講師
		作業療法について	7/25	8名	新規採用者・ 転入者	鳥越作業療法士
		家族のストレングスに視点を当てる	10/24	8名	新規採用者・ 転入者	菅野師長
		ゼブリオン学習会	11/27	7名	新規採用者・ 転入者	ヤンセンファーマ講師
		フリートーク	5/23 9/6 12/20	22名	新規採用者・ 転入者	各セクション師長
		事例検討の実際	11/27 12/14・20 1/2	36名	新規採用者・ 転入者	プリセプター委員
		発達障害の特性①②	12/14 1/25	26名	新規採用者・ 転入者 看護職員	吉田主任心理判定員
看護研究	看護研究	看護研究について	4/12	6名	看護研究発表 者 実地指導者	鈴木主任看護技師
	発表会	看護研究発表会	2/26	23名	全職員対象	講評 徳永師長
スキ ア ッ プ 研 修	臨床指導 担当者研修	臨床指導の実際 ～学生の思いを受け止めよう～	5/18	6名	臨床指導担当 者・実施指導 者	橋本主任看護技師
	褥瘡対策	皮膚・排泄	1/17	10名	オープン 褥瘡対策委員	南会津病院 皮膚・排泄ケア認定看 護師 土屋先生
	薬物療法と看護 クロザピン	クロザピンの適正使用の概 要 治療抵抗性統合失調症の定 義	5/2	12名	看護職員	高橋精神科認定看護師
		同意	6/6	10名	看護職員	高橋精神科認定看護師
		禁忌・スクリーニング 入退院規定	7/4	8名	看護職員	高橋精神科認定看護師
		クロザピンの使用法	8/1	4名	看護職員	高橋精神科認定看護師
認知症	認知症の理解と対応	2/15 3/15	14名	全職員	矢野主任看護技師	

13-(3) 院外研修実施状況

平成30年度実施結果

平成31年3月

項	目	開	催	地	人数
1	県関係				
	県立病院クリニカルラダー研修会	福	島	市	7
	県立病院看護研究発表会	福	島	市	12
	自治研修センター研修	福	島	市	9
	D P A T 関連研修会	福	島	市	10
2	看護協会関係 (日精看・日看協・日看連)				
	(一社) 日本精神科看護協会 福島県支部研修会	郡	山	市	22
	(一社) 日本精神科看護協会 本部研修会	港		区	4
	(一社) 日本精神科看護協会 全国学術集会	名	古	屋	1
	(一社) 日本精神科看護協会 東北精神科学術集会	青	森	市	2
	(一社) 日本精神科看護協会 日本専門学術集会	高	松	市	1
	(一社) 日本精神科看護協会 重度アルコール依存症看護研修会	港		区	1
	(一社) 日本精神科看護協会 C V P P P トレーナーフォローアップ研修	花	卷	市	2
	(社) 福島県看護協会 ファーストレベル研修	郡	山	市	2
	(社) 福島県看護協会 医療安全管理者養成・フォローアップ研修会	郡	山	市	3
	(社) 福島県看護協会 保健師助産師看護師実習指導者講習会	郡	山	市	2
	(社) 福島県看護協会 新人看護職員研修関連研修会	郡	山	市	4
	(社) 福島県看護協会 一般研修会	郡	山	市	20
	(社) 福島県看護協会 認知症対応能力向上研修会	郡	山	市	1
	(社) 福島県看護協会 県南支部研修会	須	賀	川	4
	(社) 日本看護協会 認知症認定看護師養成研修	高	崎	市	1
3	全自病協・学会・その他				
	自治体病院協議会 全国学会	郡	山	市	8
	自治体病院協議会 精神科特別部会	鹿	児	島	2
	自治体病院精神科東北ブロック看護部長会	青	森	市	2
	自治体病院協議会 福島県支部学会	福	島	市	1
	自治体病院協議会 看護部会研修会	郡	山	市	1
	福島県精神医療懇話会	福	島	市	3
	認知症疾患医療センター全国大会	大	津	市	1
	在宅褥瘡セミナー全国学会	郡	山	市	3
	リハビリ全国フォーラム	豊	島	区	2
	日本環境感染学会・総会	神	戸	市	1
	精神保健に関する技術研修	小	平	市	1
	医療安全関係研修	仙	台	市・郡山市	4
	感染対策研修関係	福	島	市・郡山市	7
	医療観察法関連等研修会	郡	山	市	2
	地域移行ネットワーク関連研修会	白	河	市	4

14 児童思春期外来の実施状況

14- (1) 開設からの経緯

平成23年8月に児童思春期外来が開設され、完全予約制にて診療を行っています。

子どもたちの心の問題を専門に取り扱う医療機関や医師が不足している中、当院では、平成29年度より診療枠を増やし診療にあたっていますが、それでも初診まで数か月待ちとなっています。

また、新たな取り組みとして、平成29年4月より児童思春期外来「ふくしまモデル」がスタートし「ふくしまモデル」を基に、相談の段階から医療スタッフによる支援を行っています。治療プログラムとして、子どもたちのニーズに合わせ、児童デイケア、プレイセラピー、保護者の方への支援として医師、臨床心理士によるペアレントトレーニングやフォローアップ教室など支援の幅を広げて実施しています。さらに、関係機関とのネットワーク作りのため、シンポジウムや懇談会の開催、臨床心理士による養育者を対象としたミニレクチャー（1回/月）を行い啓蒙を図っています。

14- (2) 診療日・診療時間・担当医師

診療日	【午前】 担当医師	【午後】 担当医師
月曜日	角田智哉医師	金澤壮一医師
火曜日	角田智哉医師	石川大道医師
水曜日	外部応援医師	外部応援医師
木曜日	外部応援医師	角田智哉医師・外部応援医師
金曜日（第3）	外部応援医師	外部応援医師
土曜日（月1回）	外部応援医師	外部応援医師

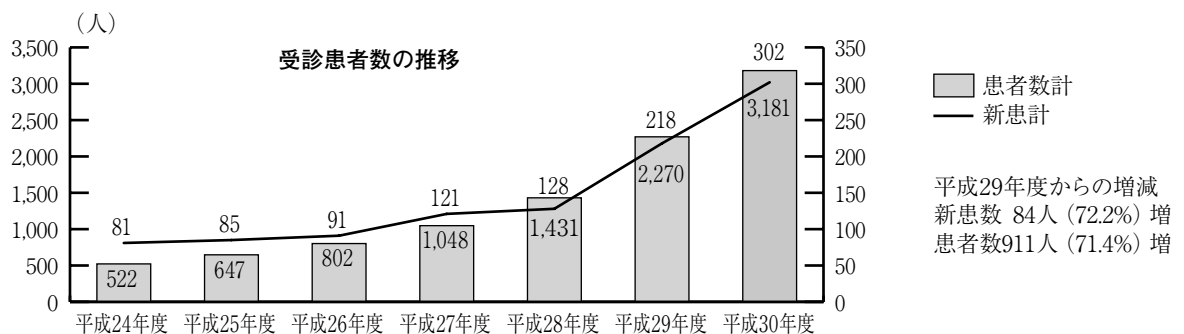
14- (3) 対象年齢・疾患

ア 対象年齢 3歳～18歳（高校卒業）まで

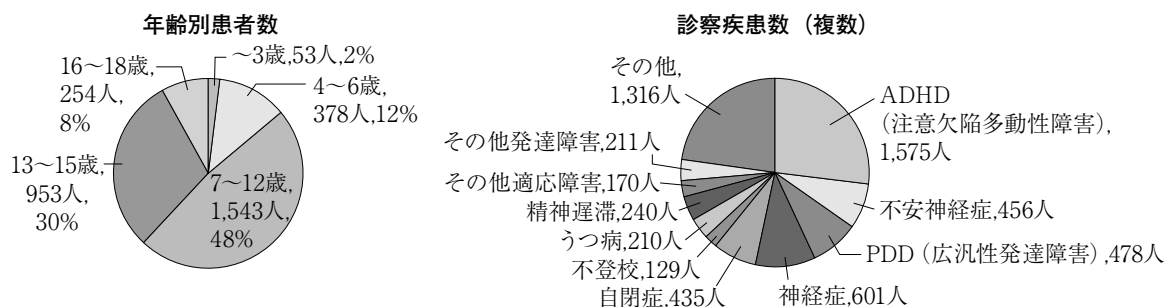
イ 対象疾患 発達障害（ADHD、自閉症など）、適応障害（不登校など）
習癖異常（チック、抜毛など）

14- (4) 外来受診状況

① 受診者数の推移



② 受診者の内訳（平成30年4月～平成31年3月）



15 地域医療連携の実施状況

15- (1) 業務内容

患者様やご家族が安心して医療サービスが利用できるように、皆様や地域の医療機関・福祉施設・保健所等と受診や入院・転院に掛かる相談の窓口を行っています。

- ①一般新患、児童・思春期外来の予約
- ②個人からの受診相談
- ③他の医療機関、行政機関等との相談・紹介・連絡・調整等
- ④通報、捜査関係事項照会、鑑定、救急搬送、アウトリーチ等の連絡・調整

15- (2) 実施状況

(単位：件)

(単位：件)

項 目	平成30年度
1 個人の受診予約・相談等	1,109
2 関係機関等との相談・紹介・連絡・調整等	1,031
3 通報・鑑定・捜査関係事項照会・救急搬送、アウトリーチ等の連絡・調整等	306

項 目	平成30年度
1 紹介患者数	294
2 逆紹介患者数	185

16 他機関への協力・援助状況

16- (1) 学校関係

ア 非常勤講師の派遣

区 分	教 科	時 間	担 当
白河医師会白河准看護学院	精神看護	10時間	主任看護技師 橋本 純一
白河医師会白河准看護学院	精神看護	20時間	主任看護技師 鈴木 圭子
公立岩瀬病院附属高等看護学院	精神看護	24時間	主任看護技師 長久保益栄

イ 実習生の受入れ

区 分	種 別	人 数	期 間
白河医師会白河准看護学院	看護学生	9	30. 9. 3~14
		10	30.11. 5~16
福島県立医大看護学部	看護学生	5	30. 8.21~ 9.20
国際医療福祉大学校 看護学科通信課程	看護学生	6	30. 5.24~25
		6	30. 6.30~ 7. 1
公立岩瀬病院附属高等看護学院	看護学生	9	30. 6.11~29
		9	30. 7. 2~20
日本精神科看護協会 (認定看護師)	認定看護	1	30. 9.27~10. 6
	実 習 生	1	30.11.19~12. 1
岩手リハビリテーション学院	OT学生	1	30. 4. 9~ 6. 1
東北福祉大学	OT学生	1	30. 5. 7~ 6.29
仙台保健福祉専門学校	OT学生	1	30. 5.14~ 6.11
日本医療科学大学	OT学生	1	30. 5.14~ 7. 6
東北保健医療専門学校	OT学生	1	30. 8.27~10.17
郡山健康科学専門学校	OT学生	1	30. 9. 3~10.26
東北文化学園大学	OT学生	1	30. 9. 3~10.26
国際医療福祉大学	OT学生	1	30. 6.12 (見学のみのみ)

16-(2) 県関係

区 分	種 別	回数	担 当
県中保健福祉事務所	心の健康相談	1	医 師
県南保健福祉事務所	心の健康相談	10	医 師
精神科救急医療システム連絡調整委員会	定期会議	1	院 長
福島県精神医療審査会	書類審査	6	院 長

16-(3) 市町村関係

区 分	種 別	回数	担 当
矢吹町教育委員会	心身障害児就学指導審議会	2	医師、心理判定員2名
矢吹町教育委員会	心身障害児心理検査、面接	10	心理判定員2名
泉崎村	心の相談会	25	心理判定員1名
白河市	発達相談会	7	医師
東白川地域	乳幼児発達相談会	2	医師
西白河地域	乳幼児発達相談会	2	医師、心理判定員1名
矢吹町	要保護児童対策協議会	2	心理判定員1名

16-(4) 団体関係

区 分	種 別	回数	担 当
特別養護老人ホーム「寿光園」	嘱託診療	36	医 師
矢吹救護院天風寮「緑風園」	嘱託診療	24	医 師

16-(5) 講演会関係（医師）

年月日	講演者名	演 題	講演場所	対 象 者
H30. 6.26	角田 智哉	「周産期のメンタルヘルスケア」	須賀川市保健センター	須賀川市・鏡石町・天栄村 保健師
H30. 7. 3	角田 智哉	「サイコロジカル・ファーストエイド研修」における講義	青森警察学校	青森県警察職員
H30. 8.28	角田 智哉	「精神科関連看護」	福島県看護会館みらい	福島県内在住もしくはは在勤している看護職 訪問看護を始めようとする者 訪問看護に従事している者 訪問看護の知識習得を目指す者
H30.10. 2	角田 智哉	「うつ病の起源～病態と回復への道筋～」	サンフレッシュ白河	企業の人事・福利厚生・健康づくり担当・市町村議員・民生児童委員・障がい福祉サービス事業所管理者等
H30.11.27	角田 智哉	「小中学生の心の健康」	棚倉町図書館	管内市町村 保健従事・養護教諭
H30.11.30	角田 智哉	「親子の学び応援講座」	五箇小学校	学校職員・児童
H31. 1.21	角田 智哉	「サイコロジカル・ファーストエイド研修」における講義	青森警察学校	青森県警察職員
H31. 2.15	角田 智哉	「統合失調症の治療」	郡山市中央公民館	日本精神科看護協会 福島県支部 会員
H31. 3.11	角田 智哉	「妊産婦メンタルヘルスケア」	郡山市にこにこ子ども館	行政機関・民間医療機関 (保健師・助産師・看護師等)
H30. 4.28	金澤 壮一	「精神障がいと家族」	福祉ハウスポネール	施設職員・施設利用者とその家族

年月日	講演者名	演 題	講演場所	対 象 者
H30. 6. 2	金澤 壮一	「発達障害について」	郡山市労働福祉会館	県内准看護学校の職員
H30.11.18	金澤 壮一	「川遊びと癒やし 児童思春期精神医学の立場から」	道の駅あいづ	阿賀川・川の達人の会会員・関係機関・団体・地域住民
H31. 1.30	金澤 壮一	「知的障害を伴う発達障害者への理解と対応」	いわき市総合保健センター	いわき市職員（保健師・ケースワーカー等）・医療機関職員・基幹相談支援センター・各関係機関の職員等
H31. 2.22	金澤 壮一	「子どもの心を育むために」	羽太小学校	児童とその家族・教師
H30.11.15	菊地 佑	「発達障がい児の家族支援について」	会津若松市コミュニティ施設ピカリンホール	管内市町村及び大熊町 母子・児童・障害担当職員・保育所・幼稚園及び認定こども園職員 会津教育事務所特別支援教育担当職員及び特別支援教育コーディネーター等 児童発達支援センター職員
H31. 1.19	菊地 佑	「知っておきたいアルコール問題～お酒をやめられない方へ家族や周囲ができること～」	いわき市総合保健センター	管内関係機関・一般市民

16- (6) 院外研究発表

研修会名	年月日	場 所	発表者	演 題
日精看東北精神科看護学術集会	H30.10.10～12	青森市	鈴木 圭子	長期にわたり多飲水傾向にある統合失調症患者の血清ナトリウム値が安定した要因～申告飲水を含めた取り組み～
J感染制御ネットワークフォーラム	H30. 9. 1	仙台市	小島小百合	義菌の取扱について
自治体病院全国大会	H30.10.18～19	郡山市	薄上 朋子	家族心理教育に参加した統合失調症の夫の気持ちや関わりの変化～夫の言動に焦点をあてて～
			齊藤 和子	体型に自信のないことが希望を叶える妨げになっている利用者へのアプローチ～利用者主導の訪問看護計画書を使用した取り組み～
			大沼 清勝	自治体病院が開設した精神科訪問看護ステーション～「のびのび」の役割と課題について～
			橋本 千晴	精神科におけるインシデント減少の取り組み
福島県立県立病院看護研究発表会	H30.11.30	福島市	根本 京子	トークンエコノミー法を用いて歯磨きの習慣化を目指した関わり～精神発達遅滞の長期入院患者の施設入所を目指して～

16- (7) 講演会関係（臨床心理室）

事業名	主催	日時	対象	参加者数	内容	実施者
石川地区町村保健師等業務連絡協議会	浅川町保健センター	平成30年11月26日	石川管内保健師	20名	こども・親への関わりのコツについて	吉田 (心理)
発達障がい児支援者スキルアップ事業	県南保健福祉事務所	平成30年11月30日	白河地区保育士	20名	C A R E	吉田 (心理)
発達障がい児支援者スキルアップ事業	県南保健福祉事務所	平成30年12月7日	白河地区保育士	20名	C A R E	吉田 (心理)

事業名	主催	日時	対象	参加者数	内容	実施者
発達障がい児支援者スキルアップ事業	県南保健福祉事務所	平成31年1月18日	白河地区保育士	20名	C A R E	吉田(心理)
発達障がい児支援者スキルアップ事業	県南保健福祉事務所	平成31年2月1日	白河地区保育士	20名	C A R E	吉田(心理)
福島県福祉職連絡協議会	中央児童相談所	平成30年9月7日	福島県児相職員等	30名	児童思春期外来から見た連携について	吉田(心理)
東白川地区保健会	養護教員連絡会	平成30年10月31日	埴・矢祭管内養護教諭	15名	子ども・親への関わりのコツについて	吉田(心理)
県中地区 ひきこもり家族教室	県中保健福祉事務所	平成30年10月15日	家族	5家族	家族の健康と本人への接し方について	吉田(心理)
県中地区 ひきこもり家族教室	県中保健福祉事務所	平成30年11月12日	家族	5家族	本人への親側の意志の伝え方について	吉田(心理)
西郷幼稚園 育児講演	西郷村立西郷幼稚園	平成31年2月14日	家族	50名	子どものやる気を引き出すかわり	吉田(心理)
平田村教職員・保護者向け講習会	蓬田小学校	平成30年11月16日	教職員・保護者	15名	コモンセンスペアレンティング	吉田(心理)
平田村教職員・保護者向け講習会	蓬田小学校	平成31年1月11日	教職員・保護者	15名	コモンセンスペアレンティング	吉田(心理)
平田村教職員・保護者向け講習会	蓬田小学校	平成31年2月26日	教職員・保護者	15名	コモンセンスペアレンティング	吉田(心理)
関辺小学校P T A講演会	関辺小学校	平成30年6月29日	教職員・保護者	40名	子どもへの関わりのコツについて	吉田(心理)

17 家族会活動状況

17-(1) 一般的活動

年月日	活 動 内 容	参加者(人数)
30.5.28	「つばさ会」総会出席 二本松市市民交流センター	事務局
30.6.22	家族会役員会及び家族会総会開催	会員(5)、来賓(1)
30.12.5	家族会例会 西白河病院家族会と合同開催	8名参加
30.12.1	福島県精神保健福祉連絡会つばさ会県南支部事業 精神障がい者家族教室参加	

17-(2) 矢吹病院まつり開催協力(10/28)

令和元年度病院概要

令和元年7月1日発行

発行 福島県立矢吹病院

院長 橘高 一

〒 969-0284 福島県西白河郡矢吹町滝八幡 100

TEL 0248-42-3111 (代)

FAX 0248-44-2551

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/yabuki/>

E-mail: yabuki.byouin@pref.fukushima.lg.jp
